

治安維持法改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十六年二月十四日(金曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 英明君
理事 泉 國三郎君 理事 眞鍋 勝君
理事 世耕 弘一君

江原 三郎君 小畑虎之助君
田村 秀吉君 小山田義孝君
中野 寅吉君 中村 高一君
永田 良吉君 濱野徹太郎君
一松 定吉君 藤田 若水君
松山常次郎君 三田村武夫君

出席政府委員左ノ如シ

内務省警保局長 橋本 清吉君
内務省土木局長 成田 一郎君
内務事務官 村田 五郎君
陸軍少將 田中 隆吉君
司法省刑務局長 秋山 要君
司法省行刑局長 金澤 次郎君
司法書記官 石田 壽君
司法書記官 大竹武七郎君
司法書記官 太田 耐造君
教務局長官 藤野 惠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法改正法律案(政府提出)

○服部委員長 是ヨリ開會ヲ致シマス、議事進行ニ付テ一言申上ゲマス、審議進行ノ方法デアリマスガ、大體初メ總論的ノコトヲ御願ヒシ、續イテ各論的ノコトヲ御願ヒシテ、其ノ次ノ方ニ繰返シノサウ云フ順

序ニ御願ヒシタイト思ヒマス、尤モ時宜ニ依ツテハ便宜變更スルコトガアリマス、田村君

○田村委員 私ハ昨日大體本法改正ニ關スル政府ノ御意思ノアル所ヲ秘密會デ承リ、政府御苦心ノ存スル所モ大體了承致シマシタ、本法ヲ制定シテ我が國ノ思想問題ノ取締ヲ、ヨリ良クシテ行クト云フコトニ付キマシテハ、私共モ協力シテ行キタイ、斯ウ云フ心持ニナツテ居リマス、其ノ觀點ニ立ツテ、共ニ國民ノ自覺ヲ促スト云フコトガ、一面ニ非常ニ必要デアルト思ヒマスノデ、今申上ゲタ觀點ニ立ツテ二三御尋ネヲシ、又法文ニ付テノ私ノ疑義ヲ懷キマスル點二、三點ヲ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、昨日ノ御尋ネシタコトニ關聯致シマシテ、國內思想對策ト國交調整ノ問題ニ關シテ、政府カラ明確ナル御方針ト御答辯ヲ承リタイト云フコトヲ、私御註文申上ゲテ置イタ、只今司法大臣ハ御出席デアリマセスガ、政府ニ於カレテモ、其ノ點ニ對シテハ明確ナル御方針ガオアリノヤウニ洩レ承ツテ居リマス、隨テ此ノ問題ニ對スル御尋ネダケハ、司法大臣御出席ノ機會ニ保留シマシテ、特ニ委員長ニ於テ其ノ機會ヲ與ヘラレンコトヲ御願シテ置キマス

ソコデ御伺ヒ致シタイノハ、最近ノ我が國ノ赤思想宣傳ノ方法ガ、右翼ノ黒ノ假裝ノ下ニ赤思想ヲ宣傳シ傳播シテ行ク、赤化思想ガ黒ノ假面ノ下ニアル、轉向ヲ擬裝スルト云フヤウナ傾向ガ顯著ナノデアリマス、

隨テ此ノ思想ヲ取締リ、本法ヲ運用スルニ當ツテ、特ニ當局ノ御注意ヲ願ハナケレバナラスノハ、右翼ノ忠君愛國トカ、尊皇トカ、國體擁護、斯ウ云フ假面ノ下ニ、共產思想ノ傳播宣傳ヲヤツテ行クト云フ虞ガアリマスノデ、此ノ右翼的運動ニ對シテノ取締ト云フコトガ最モ必要ニナル、本法ノ後段ニ豫防拘禁制度ヲ設ケラレル所以モ、其處ニアラウト思フノデアリマス、隨テ右翼運動ニ對スル取締方針ニ付テ、内務當局カラ特ニドウ云フ風ニセラレルカ、右翼運動取締ノ御方針ヲ此ノ際承リタイト思ヒマス

○橋本政府委員 右翼ト申シマスルカ、所謂國家主義ヲ標榜致シテ居リマスル運動デアリマシテモ、只今御話ノ如ク、其ノ實際ニ於キマシテハ左翼ノ思想ヲ持チ、唯之ヲ擬裝スル爲メ國家主義ヲ標榜スル徒輩ニ對シマシテハ、仔細ニ其ノ運動ノ内容ヲ檢討致シマシテ、苟クモ其ノ基調ガ左翼思想デアリ、左翼思想ヲ抱持シ、而シテ治安維持法ノ法條ニ觸レルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、固ヨリ徹底的ニ之ヲ取締ルベキモノデアアル、又現在ノ私共ノ警察上ノ警戒線モ、左様ナ方面ニハ全力ヲ擧ゲテ居リマスト云フコトヲ、御答ヘ申上ゲテ置キマス

○田村委員 質問ガアチコチヘ飛ビマスガ、此ノ際陸軍當局カラ承リタイコトハ、支那事變、更ニ東亞共榮圈ノ確立ト云フ風ナ問題カラ、今日ノ事態ハ長期化スルト云フコトハ、何人モ承知致シテ居ル所デアリマスガ、事變ガ長期化スルニ從ツテ、戰線ニ出

テ行ク兵ノ出入ガ激シクナツテ來ル、隨テ最近承ハル所ニ依リマス、歸還兵ノ中ニハ或ハ反戰思想ヲ抱ク者ガアルトカ、或ハ支那ニ赤化政策ヲ「コミンテルン」ハ全力ヲ擧ゲテ用ヒテ居ル、其ノ爲ニ支那ノ共產運動ト云フモノハ中々熾烈ナモノガアル、我が兵隊デサウ云フモノニ感染スル者ノ勿論ナキコトヲ私共望ミ、且ツ確信致シタイノデアリマスガ、多クノ兵ノ中ニハ或ハサウ云フモノニ何等カノ機會ニ感染スル者ナシトハ言ヘナイト思フ、殊ニ事變ガ長期化スルニ從ツテ、其ノ點ニ對シテハ深甚ナル注意ト、是ガ對策ヲ講ジナケレバナラスト思フノデアリマス、陸軍當局ニ於カレマシテハ、歸還兵ニ對スル思想對策ニ付テ、相當ノ案ヲ御持チデアラウト思フ、此ノ際御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○田中政府委員 田村サンノ御質問ハ御尤モデアリマシテ、其ノ通りデアリマス、軍トシマシテハ歸還兵ノ言動、殊ニ戰地ニ於テ日本軍ノ根柢ヲ覆ス爲メ、共產主義思想ヲ傳播スル、是ハ現實ノ事實デアリマシテ、凡ユル方法デアツテ居リマス、ソレ等ニ感染シナイヤウニ、ドウシテ居ルカト云フコトデアリマスガ、事實支那側即チ共產軍側、共產黨ノ宣傳ニ對シテハ、昨日モ秘密會デ申上ゲマシヤウニ、全面的ニハ先ヅ不感症ト言ツテ宜シイノデアリマスガ、一部ニハナキニシモアラズデアリマシテ、ソレニ對スル軍ノ施策ト致シマシテハ、斯ウ云フコトヲヤツテ居リマス、先般戰陣訓

が出タノデアリマスガ、萬死ニ一生ヲ得テ歸ツタナラバ言動ヲ慎シテ、所謂國民ノ儀表トナレト云フコトガ一番最後ノ項ニアリマス、之ヲ御覽ニナレバ分リマス、ナゼ之ヲ入レタカト云フ問題デアリマスガ、陸軍禮式ニハ、御承知ノヤウニ出陣式ハアリマスケレドモ、凱旋式ハナイノデアリマス、是ハ死ヲ覺悟スル者ニ凱旋式ハナイト云フ、徹底シテ戰爭ノ仕方デアリマス、戰陣訓ニ限リ歸還後ニ於ケル注意事項ガ書イテアリマスノハ、全ク今ノ田村サンノ仰シヤイマシタヤウナコトヲ慎レル爲メデアリマス、是ハ註釋のナモノデアリマスケレドモ、戰陣訓ニ對シテ中ニ一部ノ非難モアリ、生キテ歸ツタ後ノコトヲ書ク必要モナイト云フ非難ヲ排シテ書キマシタノハ、是ガ爲メデアリマス、モウ一ツ一昨年アタリハ、所謂宣傳文トカ、中ニハ掠奪シタ品物ヲシキモノヲ持ツテ歸リマシタノデ、此ノ方ノ取締ヲ峻嚴ニ致シマシテ、此ノ爲ニ一部ニ於テハ餘リ嚴シ過ギルデハナイカト言ハレル位ニ、戰時物品圖書等ノ取締ヲ嚴重ニヤリマシテ、ソレヲ沒收スルト同時ニ、本人ノ所持品ニ依ツテ思想的傾向モ分リマスノデ、サウ云フ方面ニ憲兵ヲシテ注意サセテ居リマス、特ニ歸還兵心得ト云フモノヲ作リマシテ、之ニ依ツテ歸還スル前ニ十分ニ教育シテ、失態ナカラシムルコトヲ期シテ居リマス、其ノ他ニ歸還後ニ於ケル手當デアリマス、是ハ思想上如何ハシキ者ハ、憲兵並ニ内務當局ニ於ケルマシテ注意シテ居ルデアリマスガ、ヤハリ先般モ内務大臣ガ申サレタヤウニ、教化指導ト云フコトガ必要デアリマスノデ、在郷軍人會ヲ通ジマシテ、此ノ方面ノ指導ヲヤツテ居ル次第デアリマ

ス、此ノ方面ノ指導ハ、最近相當強化サレテ參リマシタ、併シナガラ何ト申シマシテモ、斯ウ云フ歸還兵ノ思想、歸還後ニ於ケル態度ト云フモノハ、全般ニ國民道德ノ昂揚ニ俟タナケレバナリマセヌ、昨日モ猪野モサンカラ歸還兵ハ承知シマセヌト云フ御話デアリマシタ、サウ云フ事柄モアリマセウガ、一面カラ承知シマセヌト云フヤウナコトヲ言フ歸還兵モ、亦是ハ警戒ヲ要スルノデアリマス、概シテ戰カラ歸ツテ大キナコトヲ言フ奴ニハ、碌ナ奴ハ居ラス、隨テ國民諸君ニ於キマシテモ、戰カラ歸ツテ法螺ヲ吹ク者ハ聲聲スベキモノトシテ、唾棄シテ戴キタイ、戰カラ歸ツテ大キナコトヲ言フ奴ハ、武士道上許スベカラザルモノデアリ、軍人道徳上許スベカラザルモノデアルト云フヤウニ、國民諸君モ御思ヒ下サイマシテ、其ノ功ニ對シテハ敬意ヲ表スガ、許スベカラザル其ノ蔭ノ行動ニ對シテハ、斷乎トシテ排撃シテ戴キタイ、是ガ即チ軍其ノモノガ綺麗ニナリ、軍其ノモノガ立派ニナル所以デアリマス、眞ニ道德上許スベカラザルモノハ、遠慮ナク教ヘ導キ、教ヘ導イテ聞カザル人間ガアレバ、國民ノ相互制裁ニ依ツテ矯メテ戴キタイと思ヒマス、軍人ニ最モ必要ナコトハ、功ニ誇ラズト云フコトデアリマス、斯クシテ初メテ軍官民一體ト云フコトガ出來ルノデアリマス、軍々ト云ウテ責ムベキコトヲ責メナイト云フコトハ、却テ結果ガ惡イノデアリマス、其ノ點ハ遠慮ナク——歸還兵アタリノ行動ニ對シテハ、先程申上ゲマシタ態度デ進ンデ行キタイと思ヒマス、斯クシテ本當ニ一億一心ノ國家ガ出來上ルと思ヒマス、短簡デアリマスケレドモ、一寸御答ヘ申上ゲマ

ス
○田村委員 歸還兵ノ問題ハ大體了承致シマシタ、尙ホ一層今後トモ御注意ヲ御願ヒヨシ、私共之ニ協力スルニ各カナ者デハアリマセヌ、宜シク御願ヒ致シテ置キマス
次ニ共產思想ハ我が國獨特ノモノデハナク、「ロシヤ」ノ思想デアツテ、「ロシヤ」カラ來テ居ル「コミンテルン」ノ手先ガヤルト云フコトヲ國民ニ理解セシムルコトガ、私ハ此ノ思想防止ノ大キナ手段デナケレバナラスト思フ、日本ノ無產階級カラ發生スルノデハナク、實ヲ申セバ「ロシヤ」ノ帝國主義のナ一ツノ手段トシテ、「コミンテルン」ガ之ヲ活動ノ用具ニ使ツテ居ル、サウ云フコトガ餘リ實ハ國民ニ能ク分ツテ居ナイ、共產主義ト云フコトハ、何カ貧乏人ノ爲ニ良イモノデアリ、無產者ノ爲ニ、下級者ノ爲ニ良イモノデアルト云フヤウニ植付ケラレルコトハ、危險ナノデアリマシテ、實ハサウ云フ思想ハ「コミンテルン」・「ロシヤ」ノ帝國主義ノ謀略ニ使ハレテ居ルノデアルト云フコトヲ理解セシムルヤウナ、何等カノ方途ヲ講ズルコトガ、思想對策トシテ必要デアルト思フ、サウ云フ點ニ付キマシテ、政府當局ハドウ云フ御考ヘト方法トヲ御持チニナツテ居ラレルカ
○橋本政府委員 御尤モナル御意見デアリマス、幸ヒニ曩ニ御審議ヲ願ヒマシタ國防保安法ノ實施ニ際シマシテハ、先ヅ何ト申シマシテモ、防諜思想ノ普及ト云フコトガ先決問題ト存ジマス、是ガ具體的ノ方策ト致シマシテ、只今考ヘテ居リマスノハ、内務省ノ關係ニ於キマシテ、防諜委員會等ノ組織ヲ擴大シテ參ルノデゴザイマスガ、一面全國的ニ防諜思想ヲ普及致シマスル爲

ニ、出來得ルナラバ其ノ豫防知識ヲ與ヘルト云フ意味合ニ於キマシテ、勿論檢舉等ノ意味デハアリマセヌガ、豫防知識普及ト云フヤウナ觀點カラ致シマシテ、全國ノ警防團員諸君ノ御力ヲ借りテハ如何デアルカ、御承知ノ通り三百万人以上ノ團員ガアルノデゴザイマシテ、サウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、只今ノ問題ハ、或ハ廣キ意味ニ於ケル所ノ防諜思想ノ普及ニモナリマスシ、又斯様ナ機會ヲ借りマシテ、旁、御言葉ノヤウナ知識ヲ普及致シマスナラバ、相當具體的ナ效果ヲ舉ゲルノデハナカラウカ、斯様ニ存ジテ居リマス、斯様ナ方法ヲ以テ御希望ノヤウナ方針ニ進ミタイ、斯様ニ思ツテ居ル次第デアリマス
○田村委員 次ニ是ハ文部當局ニ伺フベキコトカモ知レマセヌガ、此ノ頂戴シテ居リマス資料ニ現ハレテ居ル計數ヲ見マス、大體治安維持法ニ觸レル年齡ハ三十歳以下ニナツテ居ル、ソレ以上ノ者ハ殆ドナイノデアツテ、四十歳以上ハ殆ド皆無ノ狀態ト見エルノデアリマス、年齡ハ三十歳以下ガ大部分デアツテ、四十歳以下モ多少アリマスガ、大體三十歳カラ二十歳ガ中心ニナツテ居ル、教育程度ヲ見マス、三十歳カラ二十歳ノ年齡ニ合致スルノデアリマスガ、高等教育程度ノ者ガ非常ニ多イ、中等教育程度ノ者モアリマシテ、初等教育ノ者ハ其ノ手先ニ使ハレテ居ル數デアリマセウガ、高等教育ヲ受ケテ居ル者ノ中ニ非常ニ多イコトハ、甚ダ遺憾トスルノデアリマス、此ノ教育問題ト赤化思想ノ對策ニ付テ、如何ナル方策ヲ現在御考ヘニナツテ居リマスカ、若シ實施セラレテ居リマスレバ其ノ點、又將來ノ方針等モアリデアリマスレバ、御

示シテ願ヒタイ

○太田政府委員 只今ノ御質問ニ對スル御答ヘハ、或ハ文部省デ致スベキカモ知レマセスガ、其ノ資料ニ出シマシタ共、産業主義ニ感染致シマス年齡ノ關係、教育ノ關係、其ノ關係ヲ少シ私共ノ方デ調査致シテ見タノデゴザイマス、其ノ結果ニ依リマス、從來詭激思想ヲ抱懷スルニ至リマス原因ハ、或ハ非常ニ自分ノ境遇ヲ不遇デアルト云フヤウニ感ジテ反抗的ニ入ル、或ハ又健康狀態方面白クナクテ入ルトカ云フ點ニ、主要ナル原因ガアルカニ傳ヘラレテ居ツタノデアリマス、勿論サウ云フ原因モ非常ニ大キナ原因ニナツテ居ルヤウデゴザイマスガ、最近學生等ノ傾向ヲ調べテ見マス、先ヅ一番先ニ、サウ云フ思想ニ入リマス原因ヲ作ツテ居リマスモノハ、文藝ニ親シム、ソコデ非常ニ甘イ人道的ナ思想ヲ感得致シマシテ、ソレガキツカケトナリマシテ、漸次詭激思想ヲ抱懷シテ行クヤウニ見エルノデアリマス、ソコデ讀書ヲ整理シテ、適當ナ書物ヲ與ヘテ、サウシテサウ云フ思想ニ入り込マナイヤウニシテ行クト云フコトガ、一番大切ナコトデハナカラウカト、私共ノ方デハ考ヘテ居リマス、サウ云フ考ヘハ文部省ニモ御傳ヘ致シマシテ、協力シテサウ云フ原因ヲ除去シテ行クヤウニ努メタイト存ジテ居リマス

○田村委員 大體只今承ツタ讀書政策、文藝政策等モ、一ツノ方法ト思ヒマスガ、今吾々ノ同志ノ間デ教育刷新ノ問題ヲ取扱ツテ居ル、是ハ赤化教授ノ問題トカ、或ハ學内ノ赤化的傾向ノモノヲ綺麗ニシタイト云フヤウナ考ヘ方カラ進ンデ居リマス、無論教育問題ニ偏リ過ギタ政策ヲ用ヒルコトハ

如何カト思ヒマスガ、今日ノ事變下ニ於テハ、學問ヲ國家本位ニ相當檢討シナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ文部省ニ同ハナケレバイケンナイ點カト思ヒマスガ、思想取締ノ上カラ、單ニ文藝、讀書ト云フヤウナ方法ノミデナク、學校ノ師弟關係トカ云フヤウナモノハ、非常ニ強イノデアリマスカラ、學校ノ教育方針ト、教授ノ思想内容ナリ、人柄ナリ、相當注意スベキコトガ、今日ノ事變下ニ於テハ特ニ必要ト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テハ如何デアリマスカ

○橋本政府委員 文部省ノ教務局方面デモ、其ノコトヲ勿論考ヘテ居ルコトト存ジマスガ、御説ノ通り師弟關係ガ非常ニ重要性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、勿論其ノ教職ニ當ラレル方ノ選任ニ當リマシテハ、十二分ニ連絡ヲ執ツテ、思想的ノ傾向ニ付キマシテモ調ベナケレバナリマセヌ、併シ今度此ノ法案ガ通りマスト、從來ハ所謂結社關係ガナケレバ、犯罪ガ成立シナイト云フヤウナ點ニ於キマシテ、檢舉致シマスル場合ニ、相當法律的ノ疑問ガアツタ點ガ、今度ハハツキリシテ居ルノデハナカラウカト存ジマス、此ノ法ノ運用ヲ、相當荒療治カモ知レマセヌガ、思ヒ切ツテヤリマスナラバ、其ノ方面カラ來ル效果ハ見ルベキモノガアルノデハナカラウカ、是ハ唯警察ノ觀點カラ見ルノデアリマスガ、斯様ニ決心シテ居ル次第デゴザイマス

○田村委員 色々御答辯ヲ伺ツテ私ノ意ヲ安ンズル點ガアルノデゴザイマス、特ニ先程警保局長カラ御話ノ「ロシヤ」ノ手先トシテノ赤化政策ト云フモノガ國內ニ潛入シテ來テ居ル、此ノ點ニ警防團員ノ協力ヲ求メ

ントスル所ニ着眼シテ居ラレルコトハ、大變結構ト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ組織的ニ軍ト協力セラレテ、十分ニ御活躍アランコトヲ特ニ切望致シテ置キマス、私ハ總括的ニ最後ニ一點私ノ希望デアリ、註文デモアリマスガ、今後我が國ノ一番重大ナ問題ハ、本委員會始マツテ以來同僚委員カラモ御話ガアリ、私カラモ數次申上ゲテ居リマスガ、國內ノ思想戰ト云フコトデアラウト思フ、假令今日ノ事變ガ解決シ、南方問題ガ事變的ニ解決致シマシテモ、殘ル問題ハ思想問題ダ、此ノ思想問題ノ解決ヲ巧クヤツテ行キマセヌト、國家ニ重大ナル禍根ヲ及ボシテ來ルト思フ、隨テ此ノ思想對策ニ付テハ、官民一體トナツテ十分ノ對策ヲ講ジテ行カナケレバナラス、殊ニ治安維持法ヲ今回改正サレントスルノモ、政府ノ意圖セラレル所ハ、ソコニオアリデアラウト思フノデアリマスガ、其ノ第一線ニ起ツ警察官ヲ如何ニスルカト云フコトガ、其ノ點ノ實際問題トシテ重大ナル「ポイント」ヲ成スト思フノデアリマス、此ノ思想問題ヲ取扱フ警察制度ヲドウヤツテ行クカ、思想問題ヲ扱フノハ、只ノ警察官デハイケナイノデアツテ、之ニ對シテハ特殊ノ養成ヲスルトカ、訓練ヲスルコトガ必要デアルト共ニ、一方ニ於テハ過去ノ事例ニ見マシテモ、共產問題ニ身ヲ挺シテ當ツテ居ル警察官ハ、或ル意味ニ於テ戰線ニ銃火ニ見エル所ノ兵隊サンニ似タ任務ヲ帶ビテ居ルト私ハ思フ、身ヲ危險ニ曝スト云フコトガ常住坐臥アルト思ヒマスガ、サウ云フ思想戰線ニ活躍セシムル警察官ノ養成訓練ニ、一方十分準備ヲスルト共ニ、サウ云フ警察官ニ對シテノ特別ノ待遇ナリ優遇ノ途

ヲ講ジテ置クコトガ、今後ノ我が國ノ思想對策上非常ニ必要デハナイカト思フノデアリマス、私ハ平素カラ其ノ點ヲ感ジテ、時議會等ニ於テ政府ニ御注文申上ゲタコトガアルノデアリマス、偶、今回治安維持法ノ改正ニ當ツテ、此ノ點ニ對スル政府ノ將來ノ確平タル御方針ヲ立テテ戴キタイト思フノデアリマス、之ニ對スル政府ノ現在ノ施設ハ將來ニ對スル御方針等ガアリマスナラバ、出來ルダケ詳シク承リタイト思ヒマス

○橋本政府委員 現在及ビ戰後思想問題ノコトニ付キマシテ、所謂後樂先憂ノ士ト申シマスカ、本當ニ天下ノ爲ニ憂ヘテ居ラレマス田村サンノ御意見ニ對シマシテ、私ハ滿腔ノ敬意ヲ表シマス、是ガ仕事ニ當ル者ニ付キマシテハ、先ヅ訓練トシテハ、飽クマデモ國體ニ對スル確平タル自信ト信念トヲシツカリト植付ケルコトガ、根本デアルト私ハ存ジテ居リマス、此ノ方針ニ從ヒマシテ、及バズナガラ凡ユル方法、凡ユル機會、即チ講習會、講演會其ノ他ノ方法ヲ執リマシテ、此ノ觀念ヲ先ヅシツカリト、特高專從警察官ノ陽ノ底ニ植付ケタイト存ジテ居リマス、尙ホ最後ニ御尋ネナリマシタ豫算面上ノ御話ヲ致シマスガ、只今マデ即チ昭和十五年度マデノ特高關係ノ全國ノ豫算、國費ガ、總括致シマシテ約二百五十萬圓餘ニナツテ居リマス、勿論警察費ノコトデゴザイマスカラ、之ニ國庫ノ下渡金ヲ得マシテ、地方デモ相當ナル費用ハ組ンデ居ルノデゴザイマスガ、尙ホ今回特別ニ十六年度ノ豫算ニ於キマシテ、外事警察ヲ中心ニ致シマシテ、特高關係專從警察官ノ爲ニ約九十三萬餘圓ノ増額ノ豫算ヲ出シテ居リマシ

テ、是ハ既ニ御協賛ヲ得タコトニナツテ居リマス、是等ノ費用ノ中ニ於キマシテハ、從來ニ於キマシテモ特高關係専從ノ警察官ニ對シマシテハ、固ヨリ及バザル額カモ知レヌト存ジマスガ、相當額ノ特別手當其ノ他ノ支給方法ヲ以チマシテ、具體的ニ普通ノ警察官ヨリモ優遇ノ途ヲ講ジテ居ルノデゴザイマスガ、今回御協賛ヲ經マシテ、貴族院ニ廻ハツテ居リマス十六年度ノ追加豫算面ニ於ケル九十三萬餘圓ノ豫算ヲ成立サセテ戴キマシタナラバ、從來ニモ増シマシテ三、四割程度ノ手當ノ増額トカ、サウ云フヤウナ方途ガ講ゼラレルコトニナツテ居リマスノデ、先ヅノ斯ウ云フ點デ只今ノ御話ノヤウナコトヲ補ツテ行キマシテ、將來ノ問題モ亦ソレモ考ヘタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第ゴザイマス

○太田政府委員 只今警保局長カラ御説明ノアリマシタ通り、司法省ト致シマシテモ、特高警察官ノ教養訓練ニ付キマシテハ、特ニ注意ヲ拂ツテ居リマス、特高警察官ハ大體私共ノ考ヘマス所デハ、一般ノ警察官ニ比較シテ非常ニ困難ナル三ツノ點ガ、其ノ業務ノ上ニアルト存ジテ居ルノデアリマス、其ノ一ハ、不逞ノ思想ヲ抱懷シテ居ル者ヲ説得致シマシテ、之ニ改悛ヲ促ス爲ニハ、自ラ國體觀念ニ徹底シ、確乎タル信念ヲ持ツコトガ必要ナノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ、特高警察官ハ非常ニ修養ヲ積マナケレバナラヌト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、第二ノ點ト致シマシテハ、相當此ノ詭激思想ノ指導理論ニ明ルクテ、サウ云フ方面ノ知識經驗ヲ積ンデ居ラナケレバ、十分ナル取調モナシ得ナイノデアリマス、隨テ相當ニ勉強致シテ、各方面ノ思想

ニ明ルクナツテ居ルコトヲ必要ト致スノデアリマス、第三ノ點ト致シマシテハ、併シナガラ日本ニ於キマシテハ、一旦赤ダト云フコトデ檢舉致サレタナラバ、ソレガ生涯付纏フノデアリマス、他ノ汚名ヲ着ルヨリモ、赤ダト云フ汚名ヲ着ルコトガ、日本人トシテハ最モ痛手ナノデアリマス、隨ヒマシテ徹底的ニ檢舉ヲ致ス半面ニ於キマシテハ、無辜ノ者ヲ檢舉スルト云フコトノナイヤウニ努メナケレバナラヌ、是ガ第三點デアリマス、左様ナ點ニ於テ、特高警察官ニハ特殊ナル立場ヲ認メテ居リマスノデ、司法省トシテモ、特ニ數年前カラ或ル程度ノ豫算ヲ以テ、思想係リ檢舉ヲシテ特高警察官ノ教養訓練、或ハ講習會、或ハ座談會ヲ開キ、或ハ取調ニ直接觸レテ、特段ノ注意ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス

○田中政府委員 陸軍、軍隊モヤハリ國民カラ成ツテ居ルノデアリマシテ、一般國民ノ中ノ共產主義思想ナリ、或ハ極端ナル自由主義思想ナリガ蔓リマス、此ノ影響ヲ免レナイノデアリマス、隨ヒマシテ先程橋本局長並ニ太田課長カラ申上ゲマシタヤウニ、軍隊ニ入ルマデニ、所謂適齡ニ達スルマデニ、立派ナ人間ニシテ受取リタイノデアリマス、所ガ御承知ノ如ク國民皆兵デアリ爲ニ、思想上注意ヲ要スル者ト雖モヤハリ軍隊ニ入ル、ソコ軍隊ニ於キマシテハ、斯ウ云フ者ニ對シテ所謂謹嚴ナル軍隊教育、今日日本ノ教育ノ中デ軍隊教育程鍛鍊主義ノ激シイモノハアリマセヌ、此ノ鍛鍊第一主義ノ軍隊教育ト、ソレカラ軍隊ノ所謂內務指導、詰リ兵營ニ於ケル躰ケ、是ト相俟ツテ要注意者ト云フモノヲ少クトモ二年間ニハ立派ナ軍人ニスルト云フ目的デ、

特別ノ考慮ヲ拂ツテ居リマス、併シ茲ニ一ツ喜ンデ戴キタイコトハ、此ノ要注意者ト雖モ、一タビ支那大陸ニ渡ツテ、アノ戰敗民族ノ悲慘ナル狀況、共產主義ガ實際ニ行ハレタ慘憺タル民衆ノ苦シミヲ見テハ、翻然トシテ悟リ、彼等ノ思想ガ所謂大地ヲ離レタ、極メテ「センナメンタル」ナ感情的ナ人道主義デ、淺薄ナルモノデアツタト云フコトヲ悟ルノデアリマス、此ノ要注意者ノ中ニモ、戰場ニ於キマシテハ立派ナ日本軍人トシテ赫々タル武勳ヲ立テタ者ガアルノデアリマス、隨ヒマシテ治安維持法ノ強化トカ、教育ノ徹底ニ依リマシテ——日本民族ノ根本ニハ、ヤハリ日本民族ノ血ガ流レテ居ツテ——教化取締ハ徹底致シマスガ、其ノ思想運動ノ感受性ニ對シテハ、私自身ハ比較的樂觀ヲシテ居ルノデアリマス、日本民族ハ偉大ナルモノデアルト云フコトヲ、私自身體驗ヲシテ來テ居リマス、比較的田村サシヨリハ樂觀ヲシテ居ル譯デアリマス、甚ダ遠慮ナク申上ゲマシタガ……

○小山田委員 田村君ノ質問ニ關聯シテ——只今特高警察ノ思想取締ニ關スルコトニ付テ御答辯ガアツタノデアリマスガ、私ハモット深刻ニ御考ヘラ願ハナケレバナライナイ事柄ガアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘラノデアリマス、ソレハ矯激ナ思想ノ取締ヲスベキ特高警察官吏ガ、往々ニシテ木乃伊取リガ木乃伊ニナツタト云フヤウナ結果ニ陷ツテ居ル事實ヲ、私ハ發見シテ居ルノデアリマス、此處ニ人ノ名前ヲ申上ゲルコトハ差控ヘマスガ、富山縣ニ於キマシテ——是ハ新聞ニモ發表ニナツテ居ラナイ事柄ノヤウデアリマスガ、此ノ際速カニ日本國民ハ、生命、財産ヲ奉還スベシト云フ立看板

ガ高岡ノ市内ニ立テラレタ、此ノ立看板ハ正シク警察官吏ノ許可ニ依ツタ事實ガアル、是ハ事實ドコロデハナイ、サウデナケレバナライノデアリマス、殊ニ富山縣ノ巡查ノ採用試験ノ問題トシテ——是ハ富山縣カラ出テ居ル或ル有力ナ代議士デアリマスガ、斯ウ云フ舊體制ノ代議士ハ今後ドウナルカト云フ問題ガ出テ居ル、ソレカラ私ハ先般議會局ノ審査部ノ地方調査ニ參リマシテ、其ノ際或ル縣ニ參リマシタ所ガ、ソコノ特高課長ガ農村ナドノ演說會デ、一寸吾々ノ常識デハ考ヘルコトノ出來ナイヤウナ、非常ニ矯激ナ思想ヲ持ツタ演說ヲナサツテ居ルノデアリマス、地方ノ警察署長ハ、特高課長サンガオイデニナツタカラト云フノデ、特高課長ヲ取締ル、ソナナコトハ出來ナイノデアリマスカラ、ソレニ追從スルヤウナ態度ヲ執ル、丁度私ガ參リマシタ時ニハ、ソコノ縣デハ縣會ガ開會サレテ居ツテ、知事サンニサウ云フコトヲ聽イテ見タ、所ガ知事サンハ洵ニ是ハ困ツタコトデ、近イ内ニ何トカシナケレバナラヌト思ツテ居ルガト云フヤウナ、當惑ヲシタ御話ヲ承ツテ參ツタノデアリマス、所ガ間モナク其ノ特高課長ハ自發的ニ其ノ職ヲ辭メマシテ、大政翼贊會ニ入ツタト云フヤウナ事實ガアルノデアリマス、只今特高課、警察官吏ハ國體觀念ニ對スルハツキシタ認識ヲ持タスト云フヤウナ意味デ、其ノ教養如何ト云フ質問ニ對シテ、政府カラ御答辯ガアツタノデアリマスガ、苟クモ特高課長ハ帝國大學ヲ出テ、高等文官試験ヲ通ツテ所謂事務官トシテ居ラレル立派ナ日本ノ官吏デアリマス、高等官デアリマス、斯ウ云フ方ガサウ云フ思想ヲ持ツテ、矯激ナル思想ヲ取締

ハ、生命、財産ヲ奉還スベシト云フ立看板

ルベキ所ノ特高警察官吏ガ、却テ木乃伊取
リガ木乃伊ニナツタト云フヤウナ事實ヲ吾
吾ハ見ル時ニ於キマシテハ、只今ノ御答辯
ハ尤モナコトデハアリマスガ、モウ一步
突込ンデ、現在ノ特高警察ノ官吏ノ思想狀
況ハ、ドウナツテ居ルノダト云フ實際問題
ニ付テ、モット御研究ニナツテ、サウシタ
考ヘテ是正シテ戴クヤウナコトデナケレ
バ、私ハ矯激ナル思想ノ取締ノ徹底ヲ期ス
ルト云フ上カラ、遺憾ノ點ガナイカト云フ
ヤウナコトヲ考ヘルノデアリマスガ、斯ウ
シタコトニ對スルモウ一步突込ンダ御答辯
ヲ願ヒタイ

○橋本政府委員 色々ノ御注意有難ウゴザ
イマシタ、特高警察官全般ニ對シマシテハ、
只今申上ゲマシタヤウナ、アナタモ御認メ
下サイマスル方針デ進ミタイト存ジテ居リ
マス、御注意ヲ賜リマシタ具體的ナ例ニ付
キマシテハ、尙ホ他ノ機會ニ詳細ニ事情ヲ
承リマシテ、サウシテ愈々御話ノヤウナ事
實ガアリマシタナラバ、寧ロソレハ特高警
察官トシテ、サウ云フ人間ヲ置イテオコ
トガ根本的ニイカスト思ヒマス、是ハ善處
致シタイト思ヒマス、尙ホ御示シナリマ
シタ事實等ニ付キマシテハ、餘リ人事的ノ
コトヲ詳細ニ申上ゲルコトハ如何カト思ヒ
マスガ、多少デモ問題ニナリマシタヤウナ
者ニ付キマシテハ、私赴任後ニ於キマシテ
ハ、相當善處シタ積リデ居ルノデゴザイマ
ス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○田村委員 私人總體質問ハ大體終リマシ
タノデ、二、三法案ニ付テ御伺ヒ致シタイ
ト思ヒマス、其ノ第一ハ第二條ノ規定、是
ハ新シイ規定デアリマスガ、此ノ共產結社
ノ支援團體、外廓團體ト云フコトヲ、此ノ

第二條ニ規定シテ居リマス、私ハ此ノ第二
條ノ支援關係、外廓關係ト云フコトニハ、
非常ニ注意ヲ拂ツテ、苟クモ其ノ虞アル外
廓的ノ行動、支援團體的ノ動きニ對シテハ、
徹底シタ對策ヲ講ジナケレバナラスト思フ
ノデ、斯ウ云フ規定ヲ設ケラレタコトハ、
洵ニ結構ダト私ハ思フノデアリマスガ、此
ノ規定セラレテ居ル支援團體、外廓團體ニ
對シテ、政府ハドウ云フ所マデ之ヲ狙ツテ
居ラレルカ、詳細ニ御説明ヲ願ヒタイと思
ヒマス

○太田政府委員 此ノ外廓團體ニ關スル第
二條ノ規定ヲ置キマシタ趣旨ハ、我が國ノ
共產主義運動ノ過去ノ實績ニ照シマシテ、
前衛黨ニ對シテ共產黨ニ對シマシテ如何ニ取
締ラ加ヘマシテモ、其ノ勢力ヲ補給シテ參
リマスル此ノ種外廓團體ヲ徹底ニ取締ル
ニアラザレバ、其ノ效果ヲ完全ニ擧ゲ得ナ
イト云フヤウニ考ヘマシテ、サウ云フ實情
ニ鑑ミマシテ、此ノ規定ヲ置イタノデゴザ
イマス、隨ヒマシテ此ノ規定ヲ置キマシタ
以上、外廓團體加入者ト雖モ、其ノ團體ガ
結局ニ於テ第一條ノ結社ニ關係ノアルコト
ヲ認識シナガラ、其ノ外廓團體ノ行動ニ參
加致シマシタナラバ、此ノ第二條ヲ以テ徹
底的ニ取締ル積リデ居リマス

○田村委員 此ノ點ハ認識ト云フ今ノ御説
明デ大體諒承致シマスガ、從來サウ云フ風
ナモノデ、斯ウ云フ規定ガナカツタ爲ニ、
ソコマデ檢舉ノ手ヲ及ボスコトガ出來ナカ
ツタト云フヤウナ事例ガアリマシタナラバ、
御差支ヘノナイ限りニ於テ御説明願ヒタイ
ト思ヒマス

○太田政府委員 具體的ノ事例デゴザイマ
スカ

○田村委員 大體デ結構デゴザイマス
○服部委員長 速記ヲ止メテ……
〔速記中止〕

○服部委員長 速記ヲ始めテ……

○猪野委員長 一寸議事進行ニ付テ伺ヒマ
スガ、今日ハ文部大臣ト内務大臣ノ御出席
ハ宜シウゴザイマセウカ、本當ハ總理大臣
ノ御出席ヲ要求シタイノデアリマスガ、總
理ハ御病氣ノヤウデスカラ、内務大臣ト文
部大臣ノ都合ヲ聞イテ戴ケマセスカ

○服部委員長 出席ヲ求メルコトニ取計ヒ
マス

○世耕委員 總理大臣ハ何時頃出席ノ出來
ル見込デスカ

○服部委員長 御答ヘ致シマス、御病氣ガ
何時頃快クナルカト云フコトモ判然致シマ
セス由デアツテ、御登院ノ日時ハ明確デナ
イノデアリマス

○世耕委員 醫者ノ診斷ハドウデスカ
○服部委員長 其ノ點マデハ承ツテ居リマ
セス

○世耕委員 實ハ私ハ總理ニ質問ガアルノ
デスカラ、此ノ法律案審議中ニ出席ガ出來
ナイノカ、ソレトモ豫算總會或ハ他ノ會ニ
ハ出席ガ出來ルノカ、其ノ見込ヲ委員長ヲ
通ジテ御質シ願ヒタイト思ヒマス

○服部委員長 承知致シマシタ

○田村委員 其ノ次ニハ此ノ第二十條ニ被
疑者ヲ勾引、引致シテ訊問スル時間ヲ限定
シテアリマスガ、ソレハ如何デスカ、四十
八時間ト云フコトニ限定シテアルガ、色々
ノ人ノ手配ヤ其ノ他ノ不可抗力ニ依ツテ若
シ四十八時間内デ出來ナイ場合ニハ釋放シナ
ケレバナラス、大體ハ出來ルト思フノデス
ガ、出來ナイ場合ヲ豫想出來ナイコトハナ

イ、サウ云フ場合ニ、或ハ行政執行法ノ檢
束處分ニ付スルト云フヤウナ御用意ガ、此
處ニアルノデアリマスガ

○太田政府委員 二十條ノ四十八時間内ハ、
被疑者ヲ其ノ指定シタル場所ニ引致シタ時
カラ數ヘテ四十八時間デゴザイマス、例ヘ
テ見マスルナラバ、指定シタ場所ガ警察官
署デアリマスルナラバ、警察署ニ引致シテ
カラ四十八時間デゴザイマス、隨テ此ノ時
間内ニ訊問ノ出來ナイト云フコトハ、殆ド
想像出來ナイノデアリマス、ソレノミナ
ラズ現在ノ刑事訴訟法ニ於キマシテモ、是
ト同趣旨ノ規定ガゴザイマシテ、ソレモ四
十八時間内ニ訊問セヨト云フコトニナツテ
居リマシテ、未ダ支障ヲ來シタコトハゴザ
イマセスノデ、是デ十分ダト存ジテ居リマ
ス

○田村委員 次ニハ豫防拘禁ニ關スル點ヲ
一、二御伺ヒ致シタイノデアリマス、昨日
資料ヲ戴イテ居リマスノデ、大體ノ外廓ハ
分ルノデアリマスガ、豫防拘禁委員會ノ委
員ハ、司法部内高等官及ビ學識經驗アル者
ト、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、司
法部内ノ高等官ハ分ツテ居リマスガ、斯ウ
云フ問題ニ對スル學識經驗アル者ト云フノ
ハ、ドウ云フ所ヲ具體的ニハ狙ツテ居ラレ
ルノデスカ

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、ソレハ
思想問題ニ付キマシテ相當造詣ノ深イ人ヲ
考ヘテ居リマス、サウ云フ思想問題ニ造詣
ノ深イ方ト、モウ一ツハ辯護士ノ方ヲ考ヘ
テ居リマス、ト申シマスノハ、今度ノ豫防
拘禁ニ付スル手續ニ於キマシテハ、成ベク
之ヲ公ニセズニ、且ツ家族的ナ裁判シテ處
理シテ行キタイト存ジマスノト、ソレニ法

律的ニ始終難カシイ問題ガゴザイマセヌノ
デ、補佐人ノ制度ヲ設ケマシテ、辯護士ノ
關與スルコトヲ避ケテ居リマス、併シナガ
ラ辯護士ノ方ハ公ノ訴訟ニ關スル任務ヲ持
ツテ居ラレマスカラ、斯ウ云フ思想問題ニ
ハ事件ヲ通ジテモ相當御造詣モオアリニナ
ルノデアリマスカラ、此ノ豫防拘禁委員會
ニ適當ノ御方ニ御參加ヲ願ヒタイ、サウ云
フコトヲ含メマシテ、學識經驗アル者ト云
フコトヲ豫定シテ居リマス

○田村委員 豫防拘禁ヲシタ場合ニ、ソレ
ヲ如何ニ處遇スルカト云フコトハ、此ノ頂
戴シテ居リマス資料デ大體ハ分ルノデアリ
マスガ、此ノ資料ニハ形式的ノ事ヲ載セテ
居ラレマスガ、私ハ豫防拘禁ヲシタ場合ニ
之ヲ處遇スルコトハ今後ノ對策上、殊ニ此
ノ法案ノ狙ツテ居ル重大ナル使命デアルト
思フノデアリマスガ、出來ルコトナラバ、
此ノ豫防拘禁者ニ對シテハ積極的ニ待遇シ
テ、サウシテ本當ニ心カラ轉向セシムル爲
ノ施設ヲシナケレバナラスト思ヒマスガ、
其ノ施設ハ單ナル形ダケデハイカヌ、積極
的ニ之ヲ處遇スル方針、用意ト云フモノガ
ナケレバナラスト思ヒマスガ、其ノ點ニ付
テ成ベク詳シク御説明ヲ願ヒマス

○金澤政府委員 御答へ申上ゲマス、ソレ
ハ今相當研究シナケレバナラスト問題デア
ルト思ヒマシテ、慎重ニ研究中デハゴザイマ
スガ、大體定マリマシタ所ノ概略ヲ申上ゲ
テ見マス、先ヅ學識德望ノアル御方ヲ御
願ヒ致シマシテ、思想ノ矯正ヲシテ、日本
人トシテ眞ノ自覺ヲ喚起サスト云フ風ニ、
指導シテ戴クト云フヤウナコトヲヤツテ居
リマス、現在デモ時々此ノ方法ハヤツテ居
リマシテ、ヤハリ非轉向ノ人間ニモ相當感

動ヲ與ヘテ居ルサウデアリマス、ソレカラ
豫防拘禁所ノ中ニ鍛鍊道場ト云フヤウナモ
ノ、精神的ニ訓練スル意味ニ於キマシテ、
行的修養ヲヤラサウト云フコトカラ、從來
ノ敎誡堂ハ止メマシテ、此ノ道場ヲ造ルト
云フコトヲ考ヘ居リマス、例ヘバ禪ヲヤラ
セテ、ソコデ人間トシテノ道ヲ考ヘサスト
云フ風ナ方法モ、一ツノ方法デハナイカト
思ツテ居リマス、ソレカラ作業ノ方面モ、
作業訓練ヲヤラセテ見タイ、農業ニシロ、
牧畜ニシロ、或ハ木工ニシロ、作業方面ニ
モヤハリ就キ得ラレルモノナラバ、就カシ
テ見タイと思ツテ居リマス、ソレカラ書籍ニ
依リマシテ、兎ニ角人間トシテノ修養ノ出來
ルモノ、日本人トシテノ國體ノ有難サヲ感
ゼシメルヤウナ歴史のモノ、或ハ之ニ類
スルヤウナ圖書ニ依リマシテ指導ヲ講ズ
ル、尙ホ健康ノ方面ニモ相當留意シナケレ
バナラスト問題ガアルト思ヒマスノデ、ヤハリ
體育ノ方面ニモ注意致シマシテ、健康ノ増
進ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、同時ニ之
ニ要スル敎導官、指導訓練スル人ニ立派ナ
人ヲ得ナケレバ、其ノ目的ヲ達スルコトガ
出來ナイト考ヘマシテ、ソレ等ノ方面ニモ
十分ノ努力ヲ致シタイと思ヒマス

○田村委員 ソレカラ第四十七條ニ輔佐人
ノ制度ヲ設ケラレテ居リマスガ、是ハ豫防拘
禁ノ請求ガアツテ裁判所ガ調ベル場合ニ、
輔佐人制度ヲ設ケラレタト思ヒマスガ、ソ
レト同時ニ、裁判所デ陳述スル意味ノ輔佐
人ト云フコトノミデナク、輔佐人宜シキヲ
得タラ、豫防拘禁ノ處遇ノ問題、豫防拘禁
者ヲ豫防拘禁中ニ、多少輔佐人ノ手ニ依ツ
テ之ヲ矯正スルコトニ使フコトガ有效デハ
ナイカ、特ニ温情主義、家族ノ感情ト云フ

意味カラ必要デハナイカト思ヒマスガ、此
ノ輔佐人ノ制度ハ、サウ云フ所マデ御考ヘ
ニナツテ御利用ニナリ得ルカドウカ、御尋
ネ致シマス

○金澤政府委員 此ノ四十七條ノ立案ノ正
面カラ申シマスルト、ソコマデノ考ヘヲ以
テ立案サレタモノデハナイト考ヘマスガ、
豫防拘禁ノ方面ノコトカラ申シマスルト、
出來ルダケ寧ろ原則トシテ父兄ナリ或ハ親
類ノモノノ接近ヲ許シテ居リマス、隨デサ
ウ云フコトカラ申シマスルト、御趣旨ノヤ
ウニ、此ノ輔佐人モ亦サウ云フヤウナ敎養
ヲスルト云フ意味ニ於テ、十分ニ利用シ得
ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○田村委員 最後ニ第五十五條ニ「豫防拘禁
ノ期間ハ二年トス」特ニ繼續ノ必要アル場合ニ
於テハ裁判所ハ決定ヲ以テ之ヲ更新スルコ
トヲ得」斯ウナツテ居リマスガ、此ノ更新
ヲスルコトハ、結局轉向カ改悛ガハツキリ
スルマデハ、何處マデモ更新シテ豫防拘禁
ヲナシ得ルカドウカ、サウ云フ意味デ此ノ
更新制度ヲ御執リニナツテ居ラレルノデア
リマスガ

○太田政府委員 御答へ致シマス、大體御
問ヒノヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイ
マス、唯此ノ豫防拘禁ニ付シマス者ノ條件
ト申シマスガ、犯罪ヲ犯スノ情顯著ナル者
ニ限ツテ居ルノデゴザイマス、隨テ更新ノ
場合ニ於キマシテモ、或ル程度犯罪ヲ犯ス
處ガ顯著カドウカト云フコトガ、ヤハリ其
ノ條件ニナルト存ズルノデアリマス、隨ヒ
マシテ犯罪ヲ犯ス處ガ始ナクナツテ居ル、
隨テ大體ニ於テ轉向ヲシテ居ルト云フヤウ
ナ場合ニ於キマシテハ、是ハ豫防拘禁ヲ更
新スベキデハナイノデアリマス、寧ろ其ノ

場合ニ備ヘテアリマス、保護觀察ニ付シテ、
其ノ方面デ轉向ノ促進ヲ圖ルベキデアルト
考ヘマス

○田村委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ
○藤田委員 一寸關聯シテ……逐條審議ヲ
セズニ、田村君ノヤウニ質問ヲサレタラ、
アトハ少シ質問シタダケデ、問ハヌデモ宜
イ場合ガ屢、アルダラウト思ヒマス、ソレデ
總括的質問ヲ先ニヤツテ、ソレカラ逐條審
議ト云フヤウニシテ戴キマスレバ、非常ニ
便利ダト思ヒマス、例ヘバ只今ノコトハ非
常ニ私ハ疑義ガアル、或ル犯罪ヲ犯スノ情
顯著ナルモノト云フコトガ、豫防拘禁ノ條
件ニナツテ居ル、顯著ト云フコトハ何カラ
見ルノカ、一向私ハ解セナイノデアリマ
ス、或ル治安維持法ニ觸レタ犯罪者ヲ、裁
判所ガ結社ニ參加シタトカ何トカ責任ヲ問
ウテ、二年ナリ三年ナリ牢ニ叩キ込ンデ置
ク、叩キ込ンデ置クカラドウスルコトモ出
來ナイ、ソレカラ期滿チテ外ニ出ル時ニ、
是ハ犯罪ヲ犯ス情顯著ナルモノガアルト云
フコトハ、何ヲ以テ判定スルカ、結局其ノ人
間ノ持つテ居ル思想ガ、變ツテ居ルカ否カ
ニ重キヲ置イテ居ルノデハナイカ、思想ガ
變ツタ變ラヌト云フコトハ何デ見ルカ、猫
ヲ被ツテ居レバ變ラヌ者デモ變ツタヤウナ
額ヲシテ居ル、又變ツテ居ツテモソレガ品
行ノ上ニ現ハレナケレバ、變ラヌヤウニ見
ラレル、皆豫防拘禁ノ二年ノ期間ニ、次ギ
次ギニ更新シテ社會カラ隔離スル目的デ行
クノデアリマスカラ、總テ無期懲役ニ判決
シテ置イテ、サウシテ假出獄サシテシマツ
タ方ガ、簡單明瞭デハナイカト考ヘル、是
ハ實際此ノ法ヲ適用スル上ニ於テ、非常ニ
考ヘナケレバナラスト問題ト思ヒマス、私ハ

考ヘナケレバナラスト問題ト思ヒマス、私ハ

此ノ點ニ非常ニ疑義ヲ持ツノデアリマス、是ハ治安維持法ノ犯罪デ、國體ノ變革ヲ目的トスル、洵ニ不埒ナ思想ヲ罰スルノデアリマスカラ、尤モデアリマスケレドモ、私自身ノ體驗カラ申シマス、私ハ今マデ隨分宗教上ノ行脚ヲヤツテ來タ、十八歲位カラ坐禪モ組ンデ見タ、其ノ結果宗教ニ對スル僕ノ淺薄ナ哲學ガ順々變ツテ來テ居ル、サウ云フコトカラ考ヘテ見ルト、學生等ガ赤ノ思想ニナツテ居ツテモ、是ハ唯物論ニ囚ハレテ居ルノダカラ、唯心觀ヘ進ンデ行ツタラ皆消エテシマフ、サウシテ思想ガ變化シテ、帝國臣民トシテ洵ニ頼ルベキ國民トナリ、心ガ直ツテ來ルニ違ヒナイ、ケレドモ、一度誤ツタ者ヲ、サウ云フ考ヘ方ニ依ツテ再ビ社會ニ出ラレスヤウニシテシマフト云フコトハ、是ハ大イニ考ヘナケレバナラスコトダト思フノデアリマス、ソレデ私ハ斯ウ云フコトニ付テ色々疑義ガアルノデ、質シテ見タイト思フノデアリマスケレドモ、銘々ニ思ヒ〜ニ繰返シ〜ヤツテ居ツテハ重複スルカラ、逐條のニ條文ニ付テ質問シテ行ク方ガ、簡單ニ行クノデハナイカト思ヒマス、ドウカ總括的質問ガ終ツタラ、逐條のニ整理シテ戴クコトヲ希望致シマス、是ハ他ノ諸君モ皆同様ニ御感ジダラウト存ジマス

○服部委員長 藤田君ニ申上ゲマス、開會ノ際ニ大體總括的質問ヲ了シ、續イテ逐條的ニ及ンデ其ノ方ノ質問ヲ打切ル、斯ウ云フ豫定デ進ムコトヲ申上ゲマシタ、今改メテ更ニ左様ニ申上ゲマス、但シ或ル場合ニハ便宜關聯質問ヲスルコトガ出來ル、斯ウ云フ順序デ進ムヤウニ致シテ居リマス

○藤田委員 其ハ其ノ意味ハ分ラナカッタノデスガ、ソレハ總括的質問ガ濟ンデ、今度逐條ニ入ルニハ、逐條ニ入ル區切りヲ付ケルノカ、或ハ其ノ人ガ勝手ニ逐條ニ入ツテシマツテ宜イノカ、勝手ニ入ツテ宜イト云フナラバ私ハ聽キタイ、何モ私ハ私トシテ協賛ヲ與ヘルカ與ヘスカノ肚ヲ決メルノニハ、參考ニナラスコトヲ聽イテ居ル必要ハナイデスカラ……

○服部委員長 申上ゲマス、質問者ガ總括的ナ質問ヲ了シマシタル際ニ、是ヨリ逐條ニ入ルト云フコトヲ讀ミ上ゲテ戴クコトニ願ツテ居リマス、現ニ田村君ハソレニ依ツテ御質問ヲ了セラレタノデアリマス

○藤田委員 サウスルト總括的質問ノナイ人ハ、何時質問ヲシテモ宜イノデスカ
○服部委員長 ソレハ順序ガアリマス——猪野毛君、順序デアリマス、大體總括的ト逐條的ノ御質問ヲ願ヒマス

○猪野毛委員 私ハ先キ申上ゲマシタ通り、總括的ヲ終ヘテデナケレバ逐條ニハ自分ハ入り切レヌ、私ハ逐條ニ入ラナクテモ宜イノデス、逐條ノ方ハ皆サンニ讓ルト申シテ置イタノデス
○服部委員長 次ハ中村君
○井村(高)委員 ソレデ私ハ逐條的ニ各論ヲ御尋ネ致シマス

○服部委員長 總括的ハ宜シウゴザイマス
○中村(高)委員 宜シウゴザイマス、極ク僅カデゴザイマス、從來ノ治安維持法ニ於テモ規定ヲサレテ居ツタノデアリマスガ、今度ハ第一條ガ別ニナリマシテ、國體ノ變革ト私有財産制度ヲ否認スル結社ト、別ノ條文ニ離レテ居ルノデアリマスガ、今マデ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トス

ル結社ガアツタカドウカ、サウシテソレダケデ處罰ヲ受ケタモノガ今マデアツタデアリマセウカ、此ノ點ヲ一ツ御聽キシタイト思ヒマス

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、一寸速記ヲ止メテ……
○服部委員長 一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)
○中村(高)委員 第七條ニ國體ヲ否定スルト云フコトヲ目的トシテ結社ヲ組織スルトアルノデスガ、是ハ實際ニ於テハドンナ場合デセウカ、國體ヲ否定スルコトヲ目的トスルト云フ結社デ、國體ヲ消極的ニ否定スルト云フダケデ、更ニ進ンデ國體ヲ變革スルトカ云フヤウナ所マデハ行カスデ、唯國體ダケヲ否定シテ行クト云フヤウナ結社ガ、一寸想像出來ナイノデスガ、ドウ云フ場合デセウカ

○太田政府委員 御尤モナ御質問ダト思ヒマス、是ハ實ハ主トシテ類似宗教團體ノ場合ヲ考ヘマシテ規定ヲ致シタノデゴザイマス、申スマデモアリマセヌガ、國體變革ト申シマスルト、國體ヲ破壞致シマシテ、別個ノ制度ヲ實現スルト云フコトヲ、變革ト云フ言葉ハ現ハシテ居ルノデゴザイマス、要スルニ現在ノ制度ヲ否定シ、且ツ之ヲ破壞シテ別個ノモノヲ實現スルト云フ、其ノ間ニ因果ノ關係ヲ必要トスルノデゴザイマス、所ガ特殊ナ類似宗教ノ團體ニ於キマシテハ、其ノ一定ノ事態カラ他ノ事態ニ移ツテ行キマス其ノ過程ガ、人ノ力デ移ルノデハナイ、是ハ神ノ——眼ニ見エザル力ニ依ツテ移ル、或ハ天災地變ニ依ツテ移ルト云フヤウナコトヲ申シテ居リマシテ、其ノ間ノ因果ノ關係ヲ缺イテ居ルノデゴザイマス、

隨テ是ハ變革トハ申シ切レマセヌノデアリマス、併シナガラ左様ナ思想ヲ流布致シマスコトハ、其ノ禍害ガ變革ノ場合ト同様ニ恐ルベキモノガアリマスノデ、ソコデ只今否定ト云フ言葉ヲ以テ之ヲ現ハシタ條文ヲ設ケタ次第デゴザイマス

○中村(高)委員 民族獨立運動ナドモ、此ノ法律デ取締ルノダト云フヤウナ御説明ガアツタヤウデスガ、ソレハドノ條文ニナツテ居リマスカ

○太田政府委員 民族獨立運動ガ治安維持法ニ觸レルト云フコトハ、今度初メテ左様ニ御説明申上ゲタノデハナイノデアリマシテ、抑、大正十四年ニ治安維持法ノ制定セラレマシタ時カラ左様ニ解釋セラレ、左様ニ運用セラレテ參ツテ來テ居ルノデゴザイマス、ソレハヤハリ——一寸速記ヲ止メテ……

○服部委員長 一寸速記ヲ止メテ……
(速記中止)
○中村(高)委員 サウスルト從來ノ改正前ノ治安維持法デ、獨立運動ハ取締ガ出來ルノダト云フ風ニ解釋シテ宜シイノデスカ
○太田政府委員 勿論左様デゴザイマシテ、現行法ノ下ニ於キマシテモ、獨立運動ヲ國體變革ノ事項トシテ、現ニ起訴致シ有罪判決ヲ得テ居リマス

當ノ數ニ上ツテ居ルト思フノデアリマス、一審有罪ノ判決ヲ受ケマシテカラ、控訴ニナツテ轉向ヲシテ、執行猶餘ニナツテ居リマスル數ハ、私ハ相當アルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ點カラ考ヘテ見マスルナラバ、敏速ニ事ヲ處理スルト云フコトモ、勿論ハ必要デハアリマセウガ、私ハ斯フ云フ思想犯ト云フモノハ、轉向サセルト云フコトガ一番必要ナノデアツテ、思想犯ノ者ハ刑期ノ多少ノ長イコトナドヲサウ云フヤウナ點ハ、本法ヲ改正ナサル場合ニ於テ御考慮ガナカッタノデアリマセウカ、此ノ點ヲ一ツ御答辯願ヒタイ

○太田政府委員 洵ニ御尤モナ御質問デ、左様ナ御趣旨ノコトモ勿論考ヘマシタ、併シナガラ控訴中ニ轉向致シマシタ者ノ中ニモ、刑ヲ受ケルコトヲ故意ニ避ケル爲ニ、偽裝ニ轉向シタヤウナ場合モ往々ニシテアルノデアリマス、ノミナラズ轉向ヲ促進致シマス方法ハ、控訴審ヲ置イテ、其ノ期間中ニノミ轉向ヲ促進サセルノデハナイノデアリマシテ、檢舉シマシタ後、檢事ノ取調、中、或ハ豫審ニ於キマシテモ、公判ニ於キマシテモ、轉向ヲ促進致スヤウニ仕向ケテ居リマス、更ニ裁判確定後ニ於キマシテモ、ソレニ努メテ居ルノデゴザイマシテ、控訴審ヲ省略致シマシタカラト言ヒマシテ、轉向ヲスル機會ガ非常ニ澤山失ハレモノノデハナイト信ジテ居リマス、而シテ又一方ニ於キマシテ、此ノ思想事件ノ公判ガ非常ニ長引キマス爲ニ、其ノ刑ガ確定致シマセ

爲ニ、反面ニ於キマシテ、最近治安上別個ノ被害ガ相當ニ感ゼラレルニ至リマシタノデ、轉向ヲ促進スル機會ハ、控訴審中ニノミアル譯デハナイ、併シナガラ反面ニ於ケルサウ云フ被害ヲ除去シタイト云フ風ニ考ヘマシタノデ、本案ノヤウナ制度ヲ考ヘタ次第デアリマス

○中村(高)委員 一ツノ便宜ナ意味ガ、非常ニ多イヤウデアリマスルガ、私ハ治安維持法ニ掛ツタモノヲ、實體法ノ上ニ於テ、大イニ罪ヲ重クシテ嚴罰ニスルト云フコトニ、少シモ異議ヲ持ツテ居ルノデハナイ、ソレハドンナニ重刑ヲ課セラレテモ差支ナイト私ハ思フ、唯手續ノ上ニ於テ、特ニ之ヲ別個ニ扱フ必要ガアルカドウカ、私ハ審理ナドト云フモノハ、法律決メラレテ居ル三審制度ト云フモノヲ、最モ十分ニ與ヘルノガ本當デアルト思フ、苟クモソレガ有罪デアルナラバ嚴罰ニ處スルト云フ、此ノ内容ノナ變更ハ結構ダケレドモ、少シバカリノ手續ヲ省略シテ、早く行ツタト云フヤウナコトデ、思想犯ノ根本的ナ取締ヲスルト云フヤウナコトハ、私ハ宜クナイト思フ、サウ云フヤウナコトニ對シテハ、私ハ一ツノ控訴審ヲ抜クト云フヤウナコトヲ、サウ重大ニ考ヘナイ、却テ三審制度ニ置ク方ガ宜イノダト思フ、何カ非常ニ此ノ事件ニ付テ、過去ニ於テ複雑ニナツタ爲ニ支障ガアツタト思ハレマスケレドモ、私ハ急ガバ幾ラデモ裁判ナドハ急グルト思ツテ居リマス、現在デモ随分悠長ナ裁判ナドモヤツテ居ルノデアリマシテ、急イデヤラウトスルナラバ、一月ノ内ニ何遍デモハヤレルコトデアリマス、控訴審ガアツタガ爲ニ、今日ノ裁判ノ取扱ヒガ長引イテ居ルノデハ

ナクシテ、私ハ實ハ運用ノ問題ダト思ツテ居ルノデアリマシテ、法律上原則的ニ決メラレタコトヲ、唯裁判所ガ忙ガシイカラト云フヤウナコトデ、簡單ニスルト云フコトハ、單ニ此ノ事件バカリデナク、宜クナイトダト思フ、急グナラバ、一審ヲヤツテ、直グニ又控訴審モ急イデヤル、上告モ急イデヤルト云フコトハ、不可能ナコトデハ斷ジテナイト私ハ思ツテ居リマス、ドウモ唯急グト云フダケデ、控訴審ヲ省略スルト云フコトニハ、甚ダ私ハ満足出來ナイノデアリマスガ、順次ニ斯ウ云フヤウナコトガ

今度ノ國防保安法デモヤハリ控訴ヲ抜イテ居ルノデアリマスガ、司法省ナドニ於テ、サウ云フ御考ヘガアルトハ思ヒマセスケレドモ、外ニモ順次サウ云フ風ナ裁判ヲ早クスル爲ニ、控訴ヲ抜イテ行ク方ガ宜イノダト云フヤウナ御考ヘデモオアリニナルノデシタナラバ、此ノ機會ニ私ハ御伺ヒシテ置キタイト思フノデアリマス

マシテモ、元來治安維持法ノ犯罪ノ實體ハ、内亂豫備ト見ルベキモノデアラウト思フノデアリマシテ、隨テ現行刑事訴訟法ニ於テ、一審ニシテ且ツ終審ト云フヤウニ審理ヲ促進シテ居リマスノト、其ノ必要性ヲ同ジクスルモノガアルノデアリマス、隨テ此ク治安維持法ニ於キマシテモ、審理ヲ促進ヲ圖ル爲ニ控訴審ヲ省略シタノデアリマシテ、現在ノ所國防保安法、及ビ治安維持法ニ於キマシテ、左様ナ特殊ナ理由カラ、斯様ナ審級省略ニ依ル審理ノ促進ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○中村(高)委員 二十三條デアリマスルガ、檢事ノ勾留ノ出來ル期間ガ二箇月トサレルト云フ風ニアツテ、更ニ必要ナル場合ニハ、檢事長ノ許可ヲ受ケレバ、一月毎ニ更新ヲシテ、結局一年マデハ檢事ガ勾留ヲスルコトガ出來ルトアリマスガ、取調ノ必要上、最初ノ勾留ト云フヤウナコトハ、或ハ檢事ガヤルコトガ適當ノ場合モアルト思ヒマスルガ、ソレカラ順次一年マデ勾留ヲ更新シテ行クト云フヤウナ場合ニハ、判事ノ從來ノ手續ニ依ツテヤルコトモ、少シモ困難ガナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、何故一體更新ノ場合デモ、檢事ガ勾留シナケレバナラスノデアリマセウカ

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、此ノ更新ノ場合モ總テ搜查中ノ場合デゴザイマシテ、此ノ期間ノ更新ヲ必要トスル理由モ、亦搜查上ノ理由ニ基クノデアリマス、隨ヒマシテ更新ヲ必要トスルカドウカト云フコトハ、ヤハリ搜查上指揮權ヲ持ツテ居ル檢事長ノ許可ニ掛ケマスル方ガ、最モ事情ニ明ルイノデアリマスカラ、必要、不必要ヲ適當ニ判斷シテ、處置出來ルト云フヤウニ

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、現在ノ刑事訴訟法ノ下ニ於キマシテハ、内亂罪或ハ大逆罪ニ關スル罪ニ付キマシテハ、大審院ノ特別管轄ニ屬シマシテ、一審ニシテ且ツ終審ト云フコトデ裁判致シテ居リマス、是ハ左様ナ大キナ重大ナル事件ニ付キマシテハ、其ノ事件ノ影響スル所、治安上國家的見地カラ見マシテ、影響スル所ガ非常ニ大キクアリマスノデ、サウ云フ方面ノコトヲ考慮致シマシテ、一審ニシテ且ツ終審ト云フ制度ヲ立テラレタコト考ヘテ居リマス、國防保安法ニ於キマシテハ、國防保安ノ目的ヲ達スル上ニ於キマシテ、審理ノ促進ヲ必要トスルト云フ點カラ、一審ヲ省イテ居ルノデアリマスガ、治安維持法ニ於キ

考ヘタノデアリマス

○中村(高)委員 宜シウゴザイマス

○服部委員長 三田村君、一寸此ノ際申上
ゲテ置キマスガ、内務大臣、陸軍大臣ハ他
ノ委員會ニ出テ居リマシテ、差支ガアツテ
出ラレナイサウデアリマス

○三田村委員 私人陸軍省府委員御同席
ノ上デ、總括的ナ點ヲ一、二點御尋ネ致シ
タイト思ツテ居リマスカラ、其ノ點ハ後ニ
致シマシテ、直チニ逐條ノ審議ヲ致シタイ
ト思ヒマス

○服部委員長 ソレデハ便宜逐條審議ニ入
リマシテ、陸軍當局ノ方ガオイデニナリマ
シタラ、御質問ニナルヤウニ願ヒマス

○三田村委員 今度ノ條文ハ非常ニ詳シク
ナツテ居リマシテ、殆ド洩レル所ハナイト
思ヒマス、併シ其ノ對象ニナル行為、治安
維持法違反トナル行為ノ箇々ニ付テ、大體
ズツト一度當ツテ見タイト思ヒマス、第一
條ハ團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社
ヲ組織シタル者、ソレカラ其ノ結社ニ加入
シタル者、結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行為
ヲ爲シタル者、詰リ結社ノ組織罪ト、加入
罪ト、目的遂行罪ノ三ツニナル、第二條ハ
其ノ結社ヲ支援スル目的ヲ以テ結社ヲ組織
シタル者、所謂支援結社ノ組織ト、加入ト、
其ノ目的遂行、是モ三ツデアリマス、ソレ
カラ第三條ニナツテ來ルト一寸疑問ガ出テ
來ルノデス、一條、二條ハ從前カラノ規定
デ大體分ルノデスガ、三條ニナツテ來マス
ト、第一條ノ結社ノ組織ヲ準備スルコトヲ
目的トシテ結社ヲ組織シタル者、私ノ想像
スル所デハ、日本共產黨ノ準備會トカ、組
織委員會トカ、サウ云フモノダラウト思フ
ノデスガ、第一條ノ團體變革結社ノ組織ヲ

準備スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタ
ル者、ソレカラ其ノ結社ニ加入シタル者、
目的遂行ノ爲ニスル行為ヲ爲シタル者、是
モ三段ニ分レル

〔委員長退席、泉委員長代理着席〕

ソレカラ第四條ニナリマスルト、前三條ノ
目的ヲ以テ集團ヲ結成シタル者、又ハ集團
ヲ指導シタル者、同時ニ集團ニ參加シタル
目的遂行ノ爲ニスル行為ヲ爲シタル者ト、是
モ三段ニ書キ分ケラレテ居リマス、大體
集團ト云フ名前ガ使ツテアリマスカラ、組
織デナクシテ結成トアリ、加入デナクシテ
參加トアリ、其ノ下ニ目的遂行ノ爲ニスル
行為ヲ爲シタル者、是ハ同ジデアリマスガ、
三條ト四條ノ關係、ソレカラ一條ト二條ト
ノ關係、一條、二條ハハツキリシテ居リマ
スガ、三條、四條ニ逼ツタ結社行為、ソレ
カラ加入行為、目的遂行行為、此ノ三ツニ
付テ成ベク具體的ニ御説明ヲ願ヒタイ

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、第三條
ヲ申上ゲル前ニ、第一條一寸申上ゲタイ
ト思ヒマス、第一條ハ團體變革ノ目的ヲ實
行スル結社ニ關スル規定デアルト云フヤウ
ニ、從來カラ解釋セラレテ居ルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ從來實際ノ適用ニ於キマシ
テモ、現行法ノ第一條ニ關スル問題ノ適用
ニ於キマシテモ、其ノ結社ガ自ラ其ノ目的
ヲ實行スルコトヲ擔當スルト云フコトヲ要
件トシテ解釋シ、且ツ運用セラレテ居ルノ
デアリマス、今マデニ第一條ノ結社ト認メ
ラレマシタ結社ハ、相當ニ澤山アルノデア
リマスガ、總テ其ノ實行ノ主體的ノ團體
ト云フコトニ認メラレタモノニナツテ居ル
ノデアリマス、然ルニ現在ニ於キマシテハ、
自ラソレヲ實行スルト云フヨリハ、寧ロサ

ウ云フ風ナ實行スル團體ヲ作ツテ、ソレニ
依ツテ其ノ目的ヲ到達シテ行カウ、言ヒ換
ヘマスルナラバ、サウ云フヤウナ團體ヲ作
リ上ゲテ、ソレガ出來上ル際ニハ、自分ハ
自分ノ團體ヲ解消シテ、サウ云フ風ナ團體
ノ中ニ入り込ムト云フヤウナ團體ガアルノ
デアリマス、ソレガ先程仰シヤイマシタヤ
ウナ、準備會的ナ團體ナノデアリマスガ、
其ノ準備會的ナ團體ハ、一條ノ團體ヲ作リ
上ゲルト云フコトダケガ目的デアツテ、
其ノ團體自體ト致シマス、其ノ目的ヲ實
行スルト云フ目的ガナイ場合ガ多イノデア
リマス、隨ヒマシテ第三條ノ規定ヲ設ケタ
ノデアリマス、第三條ノ結社ト云フ場合ニ
於キマシテハ、第一條ノ結社ガ存在シナイ
場合ニ於キマシテ、第三條ノ結社ノ規定ガ
働クノデゴザイマス

○泉委員長代理 三田村君ニ申上ゲマス、

只今陸軍ノ府府委員ノ出席ヲ求メマシタ所、
何レモ他ノ公務ノ爲ニ本日ハ都合ガ付カナ
イト云フノデアリマス

○三田村委員 ソレデハ先刻委員長ニ御諒

承願ツタ通り、其ノ點ダケハ本日デナクテ
宜シイ、留保ヲ願ヒマス

○泉委員長代理 承知致シマシタ

○三田村委員 今ノ御説明ハ分リマシタガ、
結社ソレ自體ガ團體變革ヲ實行スルト云フ
モノノミニ、第一條ヲ適用シテ居ルト云フ
御説明ノヤウデアリマスガ、從來ノ實際ノ
適用ハ、必ズシモサウデハナカツタノデハ
アリマセスカ、一寸補足的ニ申上ゲマス、
第三條ノ只今ノ御説明ニ關聯シテ、第二條
ノ問題モ當然ソコニ出テ來ルノデアリマス
ガ、茲ニ言フ第三條ノ結社ハ、ソレガ第一
條ノ結社ニナツタ時ニハナクナリマス、併

シ第一條ノ結社ガナクテモ、第二條ノ結社
ハ存在シ、或ハ六條以下カ五條以下ノ犯罪
ハ成立スル、詰リ實體ガナクテモ、具體的
ニ申シマス、日本共產黨ノ存在ガナクテ
モ、實際出來テ居ナクテモ、日本共產黨
ノ目的遂行ノ爲ニスル行為ハアリ得ル譯
デス、サウシテ又ソレヲ支援スル外廓團
體ノ組織活動モアリ得ル譯デアリマス、
實際問題トシテ、警視廳、内務省、司法省
ガ相協力サレテ、共產黨ヲ叩キ潰シ、全
部ナクシテシマツタト云フ場合デモ、共產
黨運動ト云フモノハアル譯デスカ、第一
條ニ代ルベキ第三條ノ結社ハアリ得ル、ソ
レハ此ノ條文デ見ルト其ノ通りデアリマシ
テ、大體觀念的ニハサウ言ヘルト思ヒマス
ガ、第一條ノ結社行為ト云フモノモ、其ノ
結社自體ガ團體變革ヲ實行スルト云フコト
ヲ、必ズシモ絕對ノ目標ニシテ居ナイ場合
ガアルカラ、單ニ團體ヲ變革スルコトヲ目
的トシテ、結社組織ヲスレバ宜イノデアツ
テ、ソレガ實行ト云フコトニナルト、實行
ノ能不能ガアリマスシ、サウ嚴格ニ言ハナ
クテモ、從來ノ取締狀況カラ見テモ、第一
條ノ説明ハ付クノデハナイカト思フノデア
リマスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○太田政府委員 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記ヲ中止〕

○三田村委員 今ノ御説明ハ分リマスガ、
其ノ御説明ヲ伺フト、少々立法ノ沿革ニ入
ラナケレバイカヌノデハナイカト思フノデ
ス、此ノ治安維持法ハ御承知ノ通り、所謂
社會主義取締トシテ出來タモノデ、實體ハ
日本共產黨ノ取締ノ爲ニ出來タト云フコト
ニナリマシテ、御話ノ如ク日本共產黨ト云
フモノガ、實ハ此ノ治安維持法制定ノ主

要目的デアリ、其ノ結社組織、結社加入、其ノ目的遂行ト云フモノガ、大體取締ノ目標ダツタと思ヒマス、ソコデ日本共產黨ト云フモノガ、常ニ治安維持法ヲ改正スル際ニ考ヘラレ、之ヲ適用スル際ニ浮シテ來ルノデアリマスガ、實際ハ今御話ノ通り、私ハ日本共產黨ノ存在其ノモノヲ餘リ多ク問題ニシナイノデス、ソレハ「コミンテルン」トノ關係ニ於テ日本共產黨ハアル、實際檢舉シテモ檢舉シタ後ニ殘ルコトガアルノデスカラ、是ハ御話ノ通りデアリマス、唯是ガ有機的ニ存在スルカ、或ハ法律上觀念的ニ存在スルカハ別ト致シマシテ、兎ニ角アルト云フコトハ言ヘルノデス、同時ニ是ハ日本共產黨ダケデハナイノデス、日本共產黨トシテ「コミンテルン」トノ關係ガナクデモ、團體變革ヲ目的トシタ結社ハアリ得ル譯デス、從來デモ「コミンテルン」トノ關係ガナクシテ、同じ性質ノモノガアツタノデス、サウスルト第一條ノ結社ノ組織ヲ準備スルコトヲ目的トシタ結社ノ組織シタル者ト云フノハ、第一條ノ結社ニナリハシナイカ、斯ウ思フノデス、勿論今日所謂左翼ノ運動、共產主義運動ハ非常ニ複雑ニナツテ、御苦心ノ程ハ分リマス、斯ウ云フ色々ナ場合ヲ想像シタ規定ノ要ルコトハ分リマスガ、解釋論トシテハ、第一條ノ「團體ヲ變革スルコトヲ目的トシタ結社ノ組織シタル者」モ、「第一條ノ結社ノ組織ヲ準備スルコトヲ目的トシタ結社ノ組織シタル者」モ、ヤハリ第一條ノ結社ナノデス、第一條ニ現ハレテ居ル文字ヲ見マス、「準備」ト云フ言葉ハ使ツテアリマセヌシ、「準備運動ヲナシタル者」トモ書イテナイノデス、唯「結社ヲ組織シタル者」ト書イテナリマスカラ、サウスルト第一條

ノ目的ハ、團體ノ變革ヲ確認シテ居ル譯デス、サウスルト第三條デ結社行爲ヲ確認出來ルナラ、ソレハ私ハ解釋論カラ言ツテ、第一條ノ結社ニナリハシナイカ、第一條デ押ヘラレハシナイカト云フ氣ガスルノデスガ、此ノ點ハ如何デセウカ

○太田政府委員 第一條ハ「團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ」ト云フ風ニ規定シテ居リマシテ、此ノ結社組織ノ動機ガ此ノ目的ニ出デナケレバナラズ、又此ノ目的ハ變革スルト云フ其ノ行爲ヲナスト云フコトガ、目的デナケレバナラナイノデアリマス、左様ナ目的ノ下ニ結社ヲ組織致シマスレバ、勿論第一條ノ結社デゴザイマスガ、然ラズシテ第三條ノ、サウスルト結社ヲ作ルト云フ標準ヲスル結社デアリマス場合ニ於キマシテハ、第一條ノ結社ニナリハシナイノデアリマス、之ヲ法律的ナ言葉デ申シマスレバ、第三條ノ此ノ組織行爲ハ、第一條ノ組織行爲ノ豫備行爲ニ該當シテ居ルト思ヒマス

○三田村委員 御考ヘノ點能ク分リマシタ、ソレデハ第四條ノ行爲ノ内容ヲ少シバカリ伺ヒタイノデアリマス、集團ヲ結成スル、勿論此ノ集團結成ノ目的ハ、第一條、第二條、第三條、即チ團體ヲ變革スル目的ヲ持ツテ居ルトカ、團體ノ變革ヲ目的トシタ結社ヲ支援スルコトヲ認識スルトカ、又其ノ準備ノ爲ノ準備行爲デアルト云フヤウナコトヲ認識スルコトガ必要デアリマスガ、目的ヲ以テ集團ヲ結成シタ場合ト云フノハ、ドウ云フ場合デアリマスカ

○太田政府委員 此處ニ申シマス集團トハ、是ハ規定ノ第一條、第二條、第三條、第四條ト來マス關係カラ、自ら讀ム人ニ分ルト思フノデアリマス、要スルニ一ツノ團體ガ

アリマシテ、其ノ團體ガ結社ノ要件ヲ缺イテ居ル場合ガ、此ノ集團ニナルノデアリマス、結社ハ申スマデモナク、多數人ノ任意ナル相當鞏固ナル結合體デナケレバナラズ、共同目的ヲ持ツテ居ラナケレバナラズ、永續的ノモノデナケレバナラズト云フヤウナ、各種ノ要件ヲ具備シナケレバ結社ニナラナイノデゴザイマス、所ガ最近ニ於キマスヤウナ分散的ナ運動形態ニナツテ參リマス、左様ナ鞏固ナル結合體デハナイ、ト云ツテ又或ル程度ノ結合體ヲ持ツタ所ノ團體ガ、運動ノ主體ニナルコトガ往々ニシテアルノデアリマス、隨テ左様ナモノヲ團體其ノモノトシテ處置スル必要ヲ認メマシテ、第四條ノヤウナ規定ヲ置イタノデアリマシテ、要スルニ此ノ集團ト云フノハ、結社ノ要件ヲ缺イテ居ル場合ノ團體デアルト云フヤウニ、觀念シテ戴キタイト思ヒマス、尙ホ此ノ結成ト云フ言葉デアリマスガ、現在マデニ第一條、第二條乃至第三條ニ書カレテ居リマス組織ト云フ言葉ガ、是ガ契約ニ依ツテ成立スル、二人以上ノ者ノ相互ノ意思ノ合致ニ依ツテ成立スルト云フヤウニ解釋セラレテ居リマシテ、組織ト云フコトハ契約デアルト云フヤウナ既成ノ概念ガゴザイマス、所ガサウスルト云フヤウナ契約ニ依ツテ、多數人ノ結合ガ出來上ルヤウナ取ラズニ、多數人ノ團體ガ出來上ル場合ガアルノデアリマス、一方的ナ行爲ニ依リマシテ、或ハ合同行爲ニ依リマシテ、多數人ガ結合セシメラレル場合ガアルノデアリマス、隨テ此ノ組織ヨリモ廣イ概念ニ對シマシテ、結成ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル次第デゴザイマス

○三田村委員 サウスルト、斯ウ云フ言葉ヲ使ツテ、語弊ガアルカドウカ分リマセヌ

ガ、何々文藝協會トカ、何々劇團、何々俱樂部ト云フヤウナモノモ、其ノ對象トナル譯デスカ、是ハ第二條ノ所謂支援結社ニモ當ラナイ、又第三條ニアル準備結社デモナイ、併シ其ノ性質ハ非常ニ左翼的デアリ、イケナイモノデアルト云フヤウナモノガアリ得ル譯デスカ、サウスルト劇團ヤ協會ハ此ノ第四條ノ對象ニナルノデスカ

○太田政府委員 御話ノヤウナ團體ガ、此ノ第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ結成セラレタ場合ニ於テハ、該當スル場合ガアルト思ヒマス

○三田村委員 此ノ目的ノ認識ノ問題デス、私ハ第七條ニ付テモ御伺ヒショウト思ツテ居リマスガ、其ノ結社目的ノ全部ガ、茲ニ所謂團體變革乃至其ノ支援ト云フコトヲ目的トシテナクテモ、其ノ目的ノ要素ノ中ニ何「パーセント」カ、或ハ五分ノ一カ、三分ノ一カ、七分ノ一カ分リマセヌケレドモ、其ノ目的トシテアツタ場合ハ、其ノ集團結成ノ目的ガ、必ズシモ全部的ニ該當スル所謂目的ニ合致シナイデモ、其ノ目的ノ要素ノ中ニ含マレル場合ハ、之ニ該當スルノデナйкаト思ヒマスガ、是ハドウデセウカ

○太田政府委員 勿論左様ニ私共モ解釋致シテ居リマス、此ノ第四條ニ記載シテアリマス前三條ノ目的ハ、何モ是ガ主タル目的ヲ以テ結成サレルト必要ハナイノデアリマス、ソレガ從タル目的デアル場合ニ於テモ、勿論此ノ第四條ニ觸レルト思ヒマス、例ヘテ見マスラバ、或ル藝術的ナコトヲ目指シマシテ、文化團體ヲ作ル、其ノ文化團體ヲ作ツテ藝術上ノ精進ヲスルト云フコトガ、主タル目的デアルト致シマシテモ、其ノ反面ニ於キマシテ、此ノ第四條ニ記載

シテ居リマスヤウナ目的ヲ、副次的ニ持ツテ居リマスナラバ、其ノ團體ハ第四條ニ觸レル場合ガ勿論アルト思ヒマス

○三田村委員 サウシマス、モツト端のナ言ヒ方ヲスルト、日本共產黨トカ、其ノ支援結社トカ云フモノノ認識ハナクデモ、左翼のデアリ、社會主義デアリ、「マルキシズム」ノ認識ヲ持ツテ集團ヲ結成スレバ、此ノ第四條ニ該當スル譯デスカ

○太田政府委員 左翼ノ場合ニ於テハ、大體サウ云フコトガ言ヘルト存ジマス、ソレハ左翼ニ於キマシテハ、理論ト實踐トノ辨證法的統一ト申シマス、サウ云フ理論ト實踐トガ全ク不可分ノ關係ニアル場合デアリマス、隨テ左翼ニ付テハ、御話ノヤウナコトハ言ヘルト思ヒマス

○三田村委員 是非必要ナ規定ダト私共考ヘマスガ、是ハ運用ノ如何ニ依ツテハ、非常ニ範圍ガ廣クナルノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ學生ノ集團デモ、何々俱樂部トカ、或ハ何々協會ト云フモノヲ學生ノ中デ作ル、サウ云フモノデモ社會科學ノ研究トカ何トカ云フモノヲ隨分ヤルモノデス、サウ云フモノガ非常ニ頻繁ニナツテ來、其ノ動向ニ注意スベキモノガアレバ、御話ノ通り今「マルキシズム」ト云フモノヘ、理論ト實踐ガ一ツニナラナケレバ、其ノ性格ヲ把握出來ナイモノデス、サウスルト結局其ノ方ヘ進ンデ行ク、第四條ノ構成要件ヲビツタリ具ヘルコトニナルノデナイカト思ヒマス、必要ナ規定ダト思ヒマスガ、運用ノ如何ニ依ツテ範圍ガ非常ニ廣クナルノデナイカト云フコトヲ、實ハ惧レルノデス、其ノ點大體ドノ邊ノ所マデ狙ツテ居ラレカ、其ノ狙ヒ所ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○太田政府委員 此ノ第四條ノ集團ノ場合ニ於キマシテハ、結社ト違ヒマシテ、集團自體ガ共同ノ目的ヲ有スルコトヲ必要トシナイ場合デアリマス、前三條ノ目的ヲ以テ結成シ、或ハ指導ヲスレバ宜イノデアリマシテ、集團自體ガ前三條ノ目的ヲ以テ、ソレガ共同目的デアルト云フコトヲ必要トシナイ場合デアリマス、隨ヒマシテ、此ノ集團ノ參加者ガ、直チニ此ノ集團ガ前三條ノ目的ノ下ニ作ラレタモノデアラカドウカト云フコトヲ認識シナイ場合ガ、往々ニシテアルカト存ジマス、隨テ其ノ認識ヲ缺キマシテ、此ノ集團ニ參加シタヤウナ者ヲ、無辜ニ處罰致シマスヤウナコトガアリマス、非常ニエ合ガ惡イト存ジマス、隨ヒマシテ第四條ニ於キマシテハ、第一條乃至第三條ノ場合ト違ヒマシテ、情ヲ知リテ集團ニ參加シタト云フヤウナ、參加ニ際シテ認識ガアレバト云フヤウナ點ヲ特ニ避ケマシテ、ヤハリ「前三條ノ目的ヲ以テ集團ニ參加」スルコトヲ必要トスル、即チ參加スル動機ガ、第一條乃至第三條ノ目的ニ出ルコトヲ必要トスルト云フヤウニ規定致シマシテ、御心配ノコトノナイヤウニ、特ニ注意シテ規定致シタ積リデアリマス

○三田村委員 能ク分リマシタ、學生ナドノ俱樂部トカ、協議會トカ云フモノハ、往々ニシテ斯ウ云フ危險ヲ持ツノデス、第四條ノ規定ハ必要デアリマスガ、今御話ノ通りデアラナラバ、其ノ趣旨ヲ十分學校當局ニ徹底セシメテ置イテ戴キタイノデス、今ノ御話ノ通り、例ヘバ早稻田ノ中ニ俱樂部ガアル、其ノ俱樂部ノ組織者ノ一、二ノモノハ、三條ノ目的ヲ持ツテ居ルガ、大多數ノ者ハ其ノ俱樂部ノ名稱ニ依ツテ入ツテ居ル

ノデ、目的ヲ認識シテ居ナイ、其ノ中デ目的ノ認識ヲ持ツテ居ル者ハ、第四條ニ該當スルガ、其ノ他ノ者ハ該當シナイト云フ場合ガ多イト思フノデス、斯ウ云フ場合ガ非常ニ危險ナノデ、質サナケレバイカスト思ヒマスガ、能ク其ノ點徹底シテ置カスト、非常ニ大キナ誤リヲ犯スノデス、是非其ノ點ハ御注意ヲ願ヒタイ

ソレカラ「第五條ノ第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ協議」ヲナシタルト言フノハ、是ハ獨立罪デスガ、協議罪ト云フモノハ、其ノ場合ハ第三條ノ豫備行為ニナリハシナイカト思フノデスガ

○太田政府委員 此ノ協議罪ニ付キマシテハ、現行法ノ第二條ニ於テモ規定サレテ居ルノデアリマシテ、現行法ノ第二條ニ於ケル協議罪ハ、第一條トノ關係ニ於キマシテハ第一條ノ豫備罪、即チ豫備ニ匹敵スベキ隠謀罪デアルト云フヤウニ説明サレテ居リマス、勿論第五條ノ此ノ協議罪モ一條乃至三條ノ關係ニ於キマシテハ、左様ナ解釋ニナルモノト存ジテ居リマス

○三田村委員 第五條ノ後半「若ハ煽動ヲ爲シ又ハ其ノ目的タル事項ヲ宣傳シ其ノ他其ノ目的遂行ノ爲ニスル行為ヲ爲シタル者」

「宣傳罪ト云フノハ、新シク出テ來タモノデスガ、此ノ宣傳罪ノ構成要素ト言ヒマスガ、宣傳罪ヲ構成スル其ノ行為ノ體様ハ、大體ドウ云フモノヲ目標ニシテ居ラレマスガ、此處ニ御書キニナル時ノ大體ノ御考ヘヲ御説明ヲ願ヒタイ

○太田政府委員 此ノ第五條ニ於キマス宣傳罪ノ構成要件ト致シマシテハ、先ヅ第一ニ本條前段ノ場合ト同様ニ、第一條乃至第

三條ノ目的ヲ以テ宣傳ヲナスコトヲ必要トスルノデアリマス、宣傳ヲナス動機ガ一條乃至三條ノ目的ノ爲ニアルト云フ點ガ、第一ノ事柄デアリマス、第二ノ點ト致シマシテ、目的タル事項ヲ宣傳スルコトヲ必要トスルノデアリマス、即チ團體變革事項或ハ之ニ關聯スル事項ノ宣傳デアリマスカラ、其ノ宣傳行為自體ノ中ニ、其ノ事項ガ指示セラレテ居ルコトヲ必要トスルモノト存ジマス、併シナガラ此ノ事項ガ指示セラレルコトヲ必要トスルト申シマシテモ、變革ノ手段方法等ハ、必ズシモ宣傳行為自體ニ於テ指示サレルコトハ必要ハナイト思ヒマス、尙ホ其ノ宣傳スル文字、言葉ガ、必ズシモ表面的ニ團體變革、支援又ハ準備ト云フヤウナコトヲ、其ノ儘直接ニ使ツテ居ルコトモ必要ハナイト存スルノデアリマス、併シナガラ其ノ趣旨ニ於キマシテハ、斯カル事項ヲ包含シテ居ラナケレバナイモノト存ジマス、要スルニ宣傳ハ一定ノ事項ヲ不特定、又ハ多數人ニ説明シ、且ツ懇ヘマシテ、其ノ理解ト共鳴トヲ求ムル行為デアルト云フ風ニ、定義出來ルモノト存スルノデアリマスガ、此ノ行為ハ煽動ト共ニ、本案ニ於テ取締ラウトスルヤウナ活動ニ於キマシテハ、有力ナル彼等ノ活動上ノ武器デゴザイマスノデ、是ハ是非トモ取締ル必要ガアルモノト承知シテ、規定致シタ次第デゴザイマス

○三田村委員 御說ノ通り最モ重要ナル規定ダト思フノデス、此處デ私が一ツハツキリ御尋ネシテ置キタイト思フノハ、五條ニ所謂煽動モ宣傳モ、實ハ是ハ獨立罪ナノデス、一條、二條、三條ノヤウナ目的遂行行為ト違ツテ、共產黨ノ認識モ要リマセヌ

シ、支援結社ノ認識モ要ラナイ、詰リ斯ウ云フコトヲ言フコト、斯ウ云フ主張ヲナスコトハ、國體變革ニナルカモ知レナイト云フ認識ハ勿論必要アリマスガ、更ニ進ンデ社會主義的ナ思想ヲ流布スルコトハ、其ノ社會主義ノ何モノナルカヲ認識シテ居ル場合ハ、直チニ之ニ該當スルノデハナイカト思フノデス、例ヘバ斯ウ云フコトヲ言フコトガ共產黨ノ思想ナノダ、是ハ「コミンテルン」ノ指令デアツテ、人民戰線ノ標語デアルト云フヤウナコトヲ知リナガラ、更ニ又斯ウ云フ言論ヲナスコトハ、反戰主義的ナ思想ヲ大イニ盛ンナラシメルノダト云フヤウナ認識ヲ以テヤル場合ハ、共產黨ノ認識ハナクとも、自分ハ共產主義者デアラウト思ハナクとも、其ノ人ノ性格如何ニ拘ラズ直チニ第五條ノ罪ヲ構成スルヤウニ思フノデスガ、如何デアリマスカ

○太田政府委員 御話ノヤウニ、第五條ノ宣傳ノ場合ニ於キマシテハ、共產黨ノ目的遂行ノ爲ニスルト云フ意思ハ必要ゴザイマセス、若シ左様ナ意思ガゴザイマスナラバ、是ハ第一條ノ目的遂行ノ爲トシテ處罰セラレルノデアリマス、併シナガラ御話ノヤウナ單ナル認識ヲ持ツテ、言ヒ換ヘマスナラバ、左様ナ事項ガ人ニ知ラレルコトハ結果ニ於テ面白クナイト云フ程度ノ認識ヲ以チマシテ、宣傳行爲ヲ致シタ場合ニ於キマシテハ、第五條ニハ觸レナイノデアリマス、第五條ノ場合ニ於キマシテハ、宣傳行爲自體ガ先程申上ゲマシタヤウニ、他人ノ理解ト共鳴トヲ求メル爲ニ之ニ懇ヘテ、サウシテ其ノ人ヲ説得シテ行クト云フヤウナ、積極的ナ意圖ヲ持ツタ行爲デアルコトヲ必要ト致スノデアリマスルガ、更ニソレニ止ラズ

シテ第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テナサレルコトガ必要ナノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ行爲ノ結果ガ第一條乃至第三條ニ觸レルト云フヤウナ、單ナル認識ヲ以テ致シタ場合ニ於テハ、第五條ニ觸レナイノデアリマス、第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ、其ノ動機カラ出發シテ——言ヒ換ヘマスナラバ、國體變革ヲ實現シタイト云フヤウナ希望ヲ以チマシテ、其ノ宣傳行爲ヲ致シタ場合ガ、本案ニ觸レルコトニナルノデアリマ

○三田村委員 其ノ點ハ此ノ解釋トシテ非常ニ難カシイノデス、今ノ御説明モ、實ハ私ノ聽キ方ガ惡カツタト見エテ二段ニナツタヤウナ氣ガスルノデス、初メハ目的ノ認識ガナクテハナラヌト云フ御話デシタガ、後ノ御話ハ、御言葉ノ中ニ國體變革ノ希望ヲ以テト云フヤウナ御言葉ガ出テ來タノデス、ソレデ私ハ勿論斯ウ云フ行爲ハ徹底的ニ押ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、ドウカスルト片言隻句ヲ捉ヘテ押ヘラレルコトガアルノデス、オ前ハ國體變革ノ宣傳ヲヤルノデヤナイカ、社會主義ノ宣傳デヤナイカト——宣傳ト云フ用語モ、今ノ御説明デハ非常ニ嚴密ナ御解釋ノヤウデアリマスガ、實際法律用語トシテ宣傳ト云フ言葉ヲ使ツタ場合ハ、ソナニ嚴密ナ要素ヲ必要トスルノデヤナイヤウナ氣ガスルノデス、例ヘバ不特定多數人ノ場合、大勢ノ前ニ出テ來テ言フト云フコトハ、自分ノ言論ニ依ツテ其ノ相手方ヲ説得シ、納得セシメテ、自分ノ意思ニ合流セシメ、共鳴セシメルト云フ、強イ意思ガソコニ作用シテナクテモ、其ノ多數人ノ前ニ行ツテ、多數人ニ對シテソレヲヤルコト自體ガ宣傳行爲ニナルノデヤ

ナイデセウカ、假ニ全ク反對ノ陣營デアツテモ、全然望ミノナイ所ニデモ行ツテ、大イニ主義主張ヲ高調スルコトハ、此處ニ所謂宣傳行爲ニナルト思フノデス、又サウデナケレバ法ノ目的ハ達セラレヌト思フ、其ノ兩面ヲ私ハ持つト思フノデス、意識シナクテモ之ヲ自分ガ説伏セテ自己陣營ニ獲得シ、乃至ハ共鳴セシメルト云フ目的ヲ以テヤツテモ、サウデナイ場合モアリマス、又サウ云フ目的ハナクテモ、唯自分ハ左翼ノ思想ヲ大イニ主張スルノダ、左翼ノ思想ノ認識ハ——勿論認識ガナケレバイケマセスガ、其ノ認識ノ下デヤツタ場合、主張スルコトニ依ツテ多クノ同志ヲ得ルトカ、自分ノ主義ニ共鳴セシメルトカ云フ意思ハナクテモ、ソレハ宣傳ニナル、是ハ言葉デヤル場合モ文章デヤル場合モ同ジコトデス、雜誌ニ論文ヲ書ク場合モ、之ニ當嵌マルト

思フ、書物ニ書ク場合モ之ニ當嵌マルト思フ、書物ノ全體ヲ流レテ居ル思潮ヲ見レバ分ルノデスガ、部分的ニ捉ヘテ行クト、非常ニ多クノ行爲ガ此ノ適用ヲ受ケルヤウニ考ヘラレルノデス、此ノ解釋ヲ「ルーズ」ニスレバ、狙ツテ居ル所ハ拔ケテシマヒマスシ、嚴密ニ非常ニ強ク解釋シテ行クト、非常ニ多クモノガ此ノ第五條ニ引掛ツテ來ルト思フノデス、是ハ新シイ規定デ、適用ノ範圍ガ非常ニ明確ニナツテ居ナイモノデスカラ、一ツ明確ニ御説明願ツテ置キタイト

フ言葉デ現ハサレルコトニナルト存ズルノデアリマシテ、此處ニ於キマスル宣傳ハ、流布トハ違ヒマシテ、ヤハリ積極的ナ意圖ヲ以テナサレルコトガ必要デアラウカト存ジマス、尙ホ「第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ」ト云フ風ニ記載致シテ居リマスノハ、是ハ「第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ」ト云フ風ニ「第一條乃至第三條」ト云フ言葉ヲ出シマシタモノデスカラ、此處ニ「目的ヲ以テ」ト云フ風ニ「以テ」ト云フ言葉ニナツテ居ルノデアリマスルガ、一條乃至三條三條ヲ見マスレバ「目的トシテ」ト云フ言葉デ總テ現ハシテ居ルノデアリマシテ、隨テ此ノ第五條ノ場合ニ於キマシテモ「目的トシテ」ト云フコトニ讀ンデ行キタイト存ジテ居ルノデゴザイマス「目的ヲ以テ」ト書キマシテモ——是ハ勿論動機目的ヲ現ハシテ居ルノデアリマスガ、併シ是ニハ多少判例等ニ於テモ、認識ヲ以テ足ルト云フヤウナ曖昧ナ判例モアルヤウデゴザイマスガ、此ノ第五條ノ場合ニ於キマシテモ「目的トシテ」ト云フ風ニ是ハ讀ムベキモノデアリマシテ「目的トシテ」ト云フ場合ニ於キマシテハ、現行法ノ解釋ノ下ニ於キマシテハ、是ハ單ナル認識デハナイ、相當ナル動機ガソコカラ出發シテ來ルコトヲ必要トスルト云フヤウニ、大體解釋サレテ居リマスノデ、御心配ノヤウナ點ハ、非常ニ除カレルノデハナカラウカト存ジマ

思ヒマス

○太田政府委員 此ノ宣傳ノ場合ニ於キマシテハ、其ノ事項ヲ他人ニ懇ヘテ共鳴ヲ求メルト云フ、積極的ナ意圖ヲ必要トスル場合デアリマス、單ニサウ云フ事項ヲ、所謂通俗ニ言フ宣傳致シマスコトハ、流布ト云

○三田村委員 能ク分リマシタ、國體變革罪ニ關スル御尋ネハ大體以上デ終ツタノデアリマスガ、此ノ機會ニ此ノ國體變革罪其ノモノニ付テノ御見解ヲ少シ伺ツテ置キタイノデアリマス、是ハ立法ノ沿革ニ歸ラナケレバイカヌト思ヒマスガ、最初ニ申シマ

ス

ス

シタ如ク、本法ハ社會主義、所謂共產主義、ソレヲ對象ニシテ生レタモノデアリ、國體變革ノ用語モソコカラ來テ居ルと思ヒマス、併シ今日此處ニ國體變革ト云フ文字ヲ使ツタ場合ハ、先般此ノ提案理由ノ御説明ノ中ニモアツタと思ヒマスガ、唯獨リ共產主義ト云フ、社會主義ト云フ、或ハ無政府主義ト云フモノヲ對象ニスルノデハナクテ、立法ノ沿革ハ變更サレテ、此處ニ謂フ國體變革罪ト云フモノハ、其ノ思想ノ何タルヲ問ハズ、苟クモ日本ノ國體ニ變革ヲ加ヘルモノ、領土ノ僭竊ヲ希望スルモノ、天皇大權ヲ否定スルモノ、主權ノ存在ヲ否認スルモノカ云フ目的ヲ以テヤツタ場合ハ、全部此ノ國體變革罪ニ入ルノデアツテ、從來此ノ立法ノ沿革トシテ持ツテ居リマシタ社會主義ト云フ、共產主義ト云フ、所謂「マルキシズム」無政府主義ト云フモノヲ對象ニスルダケデナクテ、廣ク國體變革ニ關スル一切ノ思想行動ヲ、之ニ依ツテ取締ルノダト云フ解釋ガ必要デナイカト思ヒマス、サウ云フ解釋ヲシテ置クコトガ、一面ニハ治安維持法ト云フモノガ、社會主義取締法ト云フ認識カラ離レテ、後段七條、八條ノ規定ニアリマス如ク、名目ハ宗教デアツテモ何デアツテモ、其ノ行為ノ内容ガ國體變革ニナレバ、之ニ依ツテ處罰サレルト云フコトガ明カニナツテ宜イノデハナイカト思ヒマス、其ノヤウナ御説明ヲ聽イタヤウニ記憶シテ居リマスガ、モウ一度其ノ點ヲ確認致シタイと思ヒマス

○太田政府委員 申上ゲルマデモナク治安維持法ハ、最初ニ無政府主義及共產主義、更ニ民族主義、此ノヤウナモノヲ取締ル爲ニ立法サレマシタモノデアリマスコトハ、

是ハ沿革ニ徴シマシテ疑ヒノナイコトデアリト思ヒマス、併シ其ノ後ノ運用ヲ見マサルニ、更ニ左様ナ無政府主義、或ハ共產主義ト云フヤウナ、所謂社會主義ニ關係ノナイ思想カラ出發致シマシテ、ヤハリ國體變革ヲ企圖スルヤウナ團體ニ對シマシテモ、適用サレテ參ツタノデアリマス、所謂類似宗教團體ニ對スル適用ガソレデゴザイマシテ、左様デゴザイマスカラ、今日ニ於キマシテハ、單ニ社會主義ヲ取締ルト云フヤウナ法律デハナイノデアリマシテ、苟クモ國體ニ對シテ不逞ナル變更ヲ加ヘヨウトスル者一切ニ對シテ、十分ニ之ヲ適用シ、之ヲ檢舉シテ行クベキ任務ヲ持ツタ法律デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○三田村委員 分リマシタ、第七條、第八條ニ付テ御尋ネ致シマスガ、「國體ヲ否定シ」云々ノ趣旨ハ、先般中村君ガ御尋ネシテ分リマシタ、此ノ「國體ヲ否定シ」又ハ神宮若ハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スベキ事項ヲ流布スルコトヲ目的トシテハ、是モ一ツノ目的ノ罪デス、目的ノ罪デアリマスガ、是ハ所謂類似宗教ト云フカニ適用サレルモノト思ヒマスガ、此ノ目的モ最初ニ國體變革結社ニ付テ前ニ御尋ネシタ通り、其ノ宗教ノ全部ガ斯クノ如キ目的ヲ持ツテ居ナクテモ、即チ主タル目的ガ此處ニナクテモ、從タル目的ガ之ニ該當シ、其ノ目的ノ或ル部分ガ之ニ該當スレバ、此ノ第七條ノ適用ヲ受ケルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○太田政府委員 御説ノ通りデゴザイマス、殊ニ類似宗教團體ニアリマシテハ、反面ヤハリソレガ宗教ノ特色ヲ帶ビテ居ルコトガ多イノデゴザイマス、隨テ不逞ナル思想ヲ流布スル反面ニ於キマシテハ、ヤハリ宗教

的ナモノヲ持ツテ居ルコトガ多イノデアリマスカラ、御説ノヤウナ場合ニハ寧ロ多カラウカト存ジマス

○三田村委員 先般來國防保安法ノ委員會デモ、屢、論議サレタノデアリマスガ、戰爭ガ長期化シ、又ハ社會情勢ガ非常ニ難カシクナツテ參リマス、宗教的ナ魅力ト云フモノガ非常ニ強イノデス、此ノ宗教的ナ魅力ヲ利用シタ思想運動ガ、益、盛シクナツテ來ルト考ヘナケレバナラスと思フノデス、ソレデスウ云フ規定ガ出來タコトハ、非常ニ結構ダと思ヒマスガ、唯新シク出來テ來ル宗教、所謂類似宗教ト稱セラレルモノニ對シテ御注意サレルダケデナシニ、所謂思想戰ノ點カラ言ヘバ、立派ニ宗教團體法ニ依ツテ確認サレタ宗教デモ、私ハ非常ニ注意シナケレバナラス點ガアルノデハナイカト思フ、例ヘバ「キリスト」教ノ如キ、モウ既ニ手入ヲサレタノデアリマスガ、是ハ思想戰上非常ニ大キナ役割ヲ果スト思フ、斯ウ云フモノハ國ヲ毒スルコトガ非常ニ大キイノデアリマシテ、國體ヲ否定スル目的ヲ確認シナクテモ、神宮又ハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルコト云フコトヲ確認シナクテモ、結果ニ於テ斯ウ云フヤウナモノガ非常ニ多イト言ハザルヲ得ナイと思フ、今日ノ狀態ニ於テ、サウ云フ場合ニハ、唯類似宗教ヲ取締ルコトヲ對象ニスルダケデナク、既成ノ宗教、現ニ相當ナ力ヲ持ツテヤツテ居ルモノデモ、思想戰ノ上ニ於テ、思想國防ノ上ニ於テ、此ノ治安維持法ノ持ツ任務ノ役割ノ點ニ於テ、第七條、第八條ノ規定ガ出來タ以上、私ハ嚴重ナル取締ガ必要ダと思ヒマス、殊ニ「キリスト」教ナドハサウデアリマス、朝鮮ニ參リマス、朝鮮ニハ又特有

ノ宗教ガアリマス、是ナドガ非常ニ大キナ民族運動ノ役割ヲナシテ居ルコトハ、當局御承知ノ通りダと思ヒマス、斯ウ云フモノニハ須ク斯ウ云フ規定ヲ活用サレテ、大イニ取締ヲ嚴ニシテ戴キタイと思ヒマス、其ノ點ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス

○太田政府委員 宗教團體法ニ依リマシテ、或ハ宗教團體トシテ宗教結社ハマア屈出ダケデアリマスガ、宗教團體トシテ認可ヲ受ケテ居ルモノニ付キマシテハ、大體認可致シマス際ニ、文部省ノ方面ニ於キマシテ、非常ニ嚴重ニ其ノ教義ノ内容等ニモ立至ツテ、調ベテ後ニ認可サレルヤウデアリマスカラ、大體ニ於キマシテ此ノ七條、八條ニ觸レルヤウナ場合ハナカラウカト存ジマス、併シ萬一ニモサウ云フモノガゴザイマシタナラバ、勿論本案ノ成立致シマシタ後ニ於キマシテハ、適當ニ處置シテ行キタイト存ジマス

○三田村委員 此ノ第七條ノ犯罪態樣デアリマスガ、結社行爲ハ今御話デ能ク分リマシタガ、私ハ其ノ結社行爲自體デナクテ、結社ノ構成員、乃至構成員デナクテモ、今言ツタヤウニ、「キリスト」教ナドガ宣傳カ何カヤル場合ニ、非常ニ徹底シタコトヲ言フ、神ハ「キリスト」アルノミ、世界ノ支配者ハ「キリスト」アルノミト云フヤウナコトヲ、ドン／＼ト宣傳スル者ガ居ルノデアリマス、サウ云フ者ハ私ハ之ニ依ツテ押ヘテ行カナケレバナラヌ場合ガ多イノデハナイカト思ヒマス、宗教團體法ニ依ツテ認可サレタ其ノ宗教自體ハ、ソレガ合法性ヲ持ツトシテモ、其ノ結社ノ名ニ於テナシタ行爲ハ、ヤハリ本法ノ適用ヲ受ケテ宜イノデハナイカト思ヒマス、其ノ教團自身ガ宗教團

體法ノ認可ヲ受ケテ居ルカラ、其ノ教團ノナス行爲ハ一切ガ合法化サレルノデナクテ、ヤハリ個々ノ行爲ハ本法ノ適用ヲ受ケル場合ガアルヤウニ考ヘマスガ、如何デアリマセウ

○太田政府委員 本法ニ於キマシテ、類似宗教ヲ取扱フテ居リマスノハ、七條、八條ノ場合デアリマシテ、何レモ團體ニ關係シタ場合ダケデアリマス、隨テ其ノ個々ニ致シマシタ場合ニ於キマシテハ、本案ノ關知セザル所ニナルノダト存ジマスガ、左様ニ其ノ制度ヲ立テマシタ私共ノ考ヘヲ申シマス、大體宗教ハ憲法ニ依ツテ信教ノ自由ヲ保障セラレテ居ル所デアリマス、隨テ憲法ノ御精神ニ從ヒマシテ、之ニ對シテ餘リニ處罰ヲ加ヘテ行クト云フヤウナ結果ニナリマスコトハ、面白クナイヤウニ存ジタノデアリマス、併シナガラ臣民タル義務ニ背キ、或ハ安寧秩序ヲ害スルヤウナ宗教ニ付キマシテハ、是ハ勿論憲法ノ上ニ於キマシテモ信教ノ自由ノナイ所デアリマス、併シ其ノ範圍ニ於キマシテモ、團體ニ直接ニ關係シ、或ハ團體ノ基礎ニ直接關係致シマスヤウナ、非常ニ不逞ナモノニ限リマシテ、本案ヲ以テ取締ルヤウニ致シ、其ノ餘ノモノニ付キマシテハ、大體宗教團體法ノ運用ニ依ツテ、行政的ニ處理セラレテ行クベキモノデアラウト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、隨ヒマシテ只今御話ノアリマシタヤウナ其ノ或ル一ツノ宗教團體ノ教師ガ、非常ニ不敬ナ面白カラザルコトヲナシタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ不敬ヲナシタ其ノ面白カラザルコトノ内容ガ、其ノ團體ノ教義カラ直接出テ參ル、隨テ其ノ團體自體ガ左様ナ不敬ナ面白カラザル教義ヲ持ツテ居リマス場合ニ於キマシ

テハ、或ハ七條、八條ニ觸レル場合モアラウカト存ジマスガ、然ラズシテ團體自體ガ左様ナ教義ヲ持ツテ居ルノデハナイ、併シ之ニ關聯シテ教師ガ左様ナ教義ヲ宣傳シタヤウナ場合ノ處置デアリマスガ、是ハ宗教團體法ノ體裁ニ依リマシテ、結局宗教團體ノ解散ヲ行政處分ヲ以テ命ゼラレルコトニナツテ居リマス、大體宗教團體法ノ運用ニ依ツテ、然ルベク處置出來ルダラウト云フ風ニ考ヘル次第デゴザイマス

○三田村委員 私モサウ云フ風ニ讀ンダノデス、讀ミマシタカラ御尋ネラシタノデスガ、サウスルト拔ケルモノガアルト思フ、私ハ今日合法的ノ宗教團體トシテ表面出テ居ルモノハ、恐ラク七條八條ニ該當スルモノハナイト思フ、直接宗教團體其ノモノガ七條、八條ニ該當スルコトハ、中々容易ニアリ得ナイコトダト思フノデス、問題ハ宗教ノ名ニ依ル個々ノ行爲デアリマシテ、ソレハ第四條、第五條デ抑ヘテ居ルト同様ニ、抑ヘナケレバナラヌ行爲ダト思フノデス、又宗教其ノモノノ存在ノ性格カラ言ツテモ、必ズシモ宗教ト云フモノハ、一ツノ集團ヲ形成スルコトヲ必要トシナイノデ、個人ガ持ツテ居ル場合モアル、例ヘバ三田村武夫ト云フ者ガ一ツノ新シイ宗教ヲ作り得ル、誰ニモ之ニ加入ヲ求メマセマスガ、其ノ思想ハ大イニ宣傳シ、大イニ其ノ教義ヲ説クト云フ場合ハ、是ハ七條、八條ノ結社罪ニハナリマセマスガ、正ニ其ノ行爲ハ抑ヘナケレバナラヌ譯ニナツテ來ルノデアリマス、是ガ拔ケルコトハ私ハ四條、五條ノ場合ト同様ニ困ルト思ヒマス、殊ニ此ノ思想戰ヲ強化シナケレバナラナイ今日、寧ロ私ハ個々ノ行

爲ヲ抑ヘルコトガ必要デアツテ、御話ノヤウニ宗教團體法ニ依ツテ認メラレタ現在ノ宗教團體トシテハ、恐ラクハ七條、八條ニ該當スルモノデハナイデアラウト思フ、寧ロ其ノ宗教ノ名ニ依ツテナサル個々ノ行爲ヲ、今日問題ニシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘマシタ時、私ハ結社罪ダケヲ抑ヘテ、個々ノ行爲ヲ此處デ抑ヘテ居ナイコトハ、非常ニ大キナ穴ノヤウナ氣ガスル、ドノ點デサウ云フモノヲ抑ヘルカ、宗教團體法ハ行政處分ダケデアアルカラ駄目ダト思ヒマスガ、其ノ點ヲ一ツ承ツテ置キタイ

○太田政府委員 此ノ第七條或ハ第八條ニ於テ問題ニ致シマス思想ハ、團體ヲ否定スル思想——或ハ神官若シクハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スル思想デアリマスガ、團體ヲ否定スル思想ハ、斯ウ云フ宗教團體ノ中ニハ非常ニアルト存ズルノデゴザイマスガ、個人的ノ場合ニ於キマシテハ、餘リナカラウト存ズルノデアリマス、寧ロサウ云フ風ナ個人的ナ場合ニ於キマシテハ——神官、若シクハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スベキ事項ヲ流布スルヤウナ場合ガ、往々ニシテアリ得ルカト存ズルノデアリマスガ、此ノ場合ニ於キマシテハ、勿論刑法ノ不敬罪ノ規定ノ適用モゴザイマスシ、或ハ新聞紙法、出版法等ニ依リマスル尊嚴冒瀆ニ關スル處罰規則モゴザイマスノデ、ソレヲ以テ十分取締リ得ルト云フ風ニ考ヘル次第デゴザイマス

○三田村委員 マダ多少私ノ意見ト食違ヒマスケレドモ、御當局ノ御意思ハ分リマシタ、次ニ刑事局長ガオイデニナツテ居リマスカラ、局長ニ一ツ御伺ヒシテ見タイ、第十條以下ノ規定、茲ニ所謂私有財産制度否認ト云フ言葉、是ハ長イ間使ハレテ來タ言

葉デアリマスガ、民法ニ所謂所有權ノ觀念ト、茲ニ所謂私有財産制度否認ノ觀念ト、ドウ違フカ、其ノ共通スルモノ、相異ルモノヲ、一ツ法律的ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○秋山政府委員 私有財産制度否認ト所有權ノ問題、是ハ中々難カシイ問題デアリマシテ、詳シク申上ガ兼ネルカモ知レマセマスガ、私有財産制度ノ否認ト云フコトハ、私有財産ヲ根本的ニ破壊スルト云フコトノ考ヘ方デアリマス、而シテ私有財産制度ノ根本ハ、是ハ無論所有權ノ問題ニナルノデアリマス、所有權ヲ根本的ニ認メナイ、個人ノ私有ヲ全然認メナイト云フコトニナリマス、結局所有權ヲ否定スルコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ、私有財産制度ノ否定ト云フコトハ、結局所有權ノ否定ト云フコトニ相成ルコトト考ヘマス、大體ハサウ云フ關係デアラウト考ヘマス

○三田村委員 所有權ノ否定即私有財産制度ノ否認ト云フ御結論ノヤウニ伺ヒマシタガ、多少私ハ違フノデハナイカト思フノデス、實ハ是ハ非常ニ重要ナ問題デアリマシテ、今後所謂戰時體制ヲ強化シテ參リマス、所有權ノ制限、私有財産ノ制限ガ、ドンドン強化サレテ來ルト思フノデアリマス、所有權ノ否定即私有財産制度ノ否認ト云フコトニ相成リマス、是亦否認ニモ度合ヒガアリマシテ、是ハ分量ノ問題ニナリマスガ、根本的ニ所有權ヲ否認スル場合ハ、勿論私有財産制度ノ否認ニナリマセウケレドモ、所有權ノ制限ハ憲法ニモ認メラレテ居リマス、憲法デハ所有權ハ尊重シテ居リマスガ、法律ノ範圍内ニ於テ其ノ自由ヲ認メラレテ居ルノデ、法律デ制限スル場合ハ一向問

題ニナラナイノデアリマス、勿論議會デ之ヲ協賛シ決定スル場合ハ問題ニナリマセスガ、茲ニ一ツノ新シイ運動ガ起ツテ來ルト思フ

(泉委員長代理退席、委員長着席)

例ヘバ土地國有論デアリマスガ、土地國有論ガ出テ參リマス、是ハ土地所有權ノ重大ナ制限デアアル、土地所有權ハ今日ノ私有權ノ觀念ノ中ニ於ケル非常ニ多クノ部分ヲ占ムルノデアリマス、其ノ土地所有權即チ土地ニ對スル私有財產制度ト云フモノヲ否定スルノデアリマス、サウスルト茲ニ所謂第十條ノ規定ニ該當スルト云フコトニナツテ來ルノデアリマス、第十條ノ所謂私有財產制度ハ、法律的ニ一ツノ觀念ニナツテ居リマスガ、一ツノ經濟機構ヲ言フノデハナリカ、一ツノ財產性ノ社會的形態ト云ヒマスカ、サウスルト云フモノヲ言フノデアツテ、所有權トカ何トカ云フ法律上ノ所謂權利ト違ツテ來ルト思フ、詰リ茲ニ所謂私有財產制度ハ、勿論所有權ガ含マレテ居リマスガ、其ノ所有權ノ上ニ組立テラレタ私ノ財產權、之ヲ飽クマデモ尊重スルト云フ、法律思想ノ社會的觀念ノ上ニ組立テラレタ一ツノ經濟制度デアリ、社會機構ナノデアツテ、法律のナ意味ノモノデハナイト思フノデス、勿論茲ニ出テ來テ之ヲ法律的ニ解釋スル時ニハ、其ノ觀念ガハツキリシナケレバナリマセスガ、私有財產制度ト民法ニ所謂所有權トハ私ハ違フト思フ、違ハナイトスレバ、解釋上非常ニ難カシイ問題ニナツテ來ルト思フ、私ハ繰返シテ申シマスガ、私有財產制度ハ一ツノ社會制度デアリ、經濟制度デアアル、ソレニハ歴史性モアリ、社會性モアリ、色々ノ條件ガ積重ネラレテ來

マスガ、所有權トハ自ラ違ツタ性質ノモノダ、斯ウ理解シテ居リマスガ、如何デセウカ

○秋山政府委員 先刻ノ御尋ネハ、私有財產制度否認ト、所有權ノ關係ト云フ風ニ伺ツタモノデスカラ、所有權トドウ云フ關係ガアルカト云フコトニナルト、私有財產制度ヲ否認スルト云フコトハ、所有權ノ根本的ニ否認スルト云フコトニナルノデアアル、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデアリマス、勿論所有權ヲ制限スルトカ云フヤウナ問題ニナリマス、又自ラ解釋モ違ヒマスガ、制限ト申シマシテモ、一部ノ制限ガ直チニ私有財產制度ノ否認トナル譯デハ無論アリマセスガ、其ノ制限ガ非常ニ極端ニナツテ、殆ド根本的ニ之ヲ破壊スルノ同ジ度程ノモノニナリマスレバ、私有財產制度ノ制限ハ結局否認ト云フコトニナラザルヲ得ナイト思ヒマス、先程私ノ申上ゲタノハ、私有財產制度ノ問題ト、所有權ノ問題ト、ドウ云フ關係カト申サレタ爲ニ、其ノコトダケヲ申上ゲタ次第デアリマス

○三田村委員 大體ノ御見解ハ分リマシタ、私モ同ジヤウニ考ヘテ居リマスガ、問題ハ實際第十條ノ運用ニナツテ參リマス、從來ハ恐ラク此ノ私有財產制度否認ノ規定ト云フモノハ、適用サレテ居ラスト思ヒマス、

先般御説明ニナリマシタヤウニ、私ノ記憶スル所ニ依リマス、北海道ノ集産黨事件ガ唯一ツデアアルト思ツテ居リマスガ、私有財產制度否認ト云フ言葉ヲ、立法ノ沿革カラ考ヘテ見レバ、適用サレル部分ハ極メテ狹クナル、立法ノ沿革カラ考ヘテ見レバ、是ハ社會主義所謂「マルクス」主義、無政府主義トカ、共產主義ガ其ノ對象ニナツテ來

タノデアリマシテ、立法ノ沿革カラ見レバ、適用ノ範圍ハ極メテ少クナリマスガ、茲ニ第十條ニ書直シテ「私有財產制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者」

斯ウ書キ、第十一條ニ「前條ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ協議ヲ爲シタル者」斯ウ書キマス、法理論的ナ解釋トシテハ、私ハ新シイ觀念ガ出テ來ルト思フ、今ノ私有財產制度否認ト云フ言葉モ、所有權否認ト云フ言葉モ、其ノ領域内ニアルト刑事局長ハ仰セラレマシタガ、其ノ通りデアリマシテ、是ハ全的ニ否認スルノハ否認デアツテ、部分的否認ハ否認デナイト云フ解釋ニナルノデアアル、全部所有權ヲ否認シナケレバ、茲ニ所謂私有財產制度ノ否認ニハナラスト云フ解釋ニハナラナイ、極ク嚴格ニ法律上ノ解釋ヲヤレバ、土地國有論モ、產業奉還論モ、財產奉還論モ、是モヤハリ私有財產制度否認ニナツテ來ル、解釋論トシテハナツテ參ルト思フ、今ノ刑事局長ノ説明ノヤウニ、所有權ヲ全的ニ否認スルト、所有權ヲ否認スルコトガ私有財產制度否認ニナル、逆ニ又私有財產制度ヲ否認スルト云フコトハ、結局、此ノ經濟機構ノ根柢ヲ成ス所有權ヲ否認スルコトニナル、斯ウ云フ御説明デアリマシテ、法律ノ解釋トシテハ其ノ通りデアアルト思フ、然ラバ其ノ範圍如何ト云フ問題ニナツテ來ル、所有權否認ト云フ觀念ハ、私ハ法律用語トシテ茲ニ書イタ以上ハ、全部否認シナクテモ否認ハ否認デアルト思フ、然ラバドノ程度ガ否認デ、ドノ程度マデハ否認デナイト云フ説明ハ、一寸難カシイデハナイカト思フ、國家ガ法律ニ依ツテナス場合ハ、勿論之ニハ該當シマセスガ、サウスルト一ツノ經濟新體

制ト申シマスカ、新經濟機構ト申シマスカ、一ツノ新シイ社會體制、社會體制ト云フ言葉ガ惡ケレバ國家體制、經濟制度、今日別ノ言葉デ言ハレテ居ル高度國防國家體制ト云フ言葉デモ、是ハ表現出來ルノデアリマスガ、サウスルト云フモノヲ目的トシテノ土地ノ國有論、重要產業ノ國有論、是ハ重大ナル所有權ノ制限ニナツテ來ル、サウスルト運動ヲナス場合、サウスルト云フコトヲ目的トシテ一ツノ結社ヲ組織シタラバ、第十條ニ該當スルカト云フコトニナル、是ハ國體變革ノ場合トハ違ヒマシテ、解釋ノ如何ニ依ツテハ幾ラデモアルト思フ、從來ノ御取扱ハサウスルト居リマスヨ、是ハ立法ノ沿革ガ社會主義ヲ對象ニシテ來マシタカラ、最初ノ治安維持法ニ「國體若ハ政體ヲ變革シ又ハ私有財產制度ヲ否認スルコトヲ目的トシ」ト、斯ウ續ケテ書イデアツタ、行爲ノ内容ハ同ジデ、私有財產制度ノ否認ハ隨テ國體ノ變革ニナル、其ノ行爲ニ關聯性ガアツタ、有機的ナ結合性ガアツタカラサウスルト居リマシタガ、實際茲ニ新シイ法律トシテ書分ケテ來マス、解釋論トシテハ私ノ申上ゲタヤウニナルト思フ、是ハ立法ノ沿革カラ、司法省ハ別ニ茲ニ何等ノ疑念モナク御書キニナツタト思ヒマスガ、書カレタ法律ヲ法文ニ依ツテ解釋シマス、今私ガ申上ゲタヤウナコトニナルト思フ、隨テ先般來此處デ屢、問題ニナリマシタ財產奉還論、財產ヲ奉還シロト云フヤウナコトヲ一ツノ結社ガ言フト、ソレハ財產權ノ奉還ハ、是ハ所有權ノ否認ニナル、全部財產權ヲ奉還スレバ所有權ノ否認ニナル、サウスルト云フ解釋モ出テ來ルト思フ、財產權ノ奉還ト言ハナクテモ、土地國有論、產業國有論デモ、是ハ

重大ナル所有權ノ否認ニナツテ來ル、是ハ非常ニ重要ナル問題トナツテ來ルト思フ、立法化スル以上、其ノ點マデ十分考ヘテ置ク必要ガアルト思ヒマスカラ、一ツ此ノ點ヲ十分御研究ノ上御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○秋山政府委員 御意見ノ通りデアリマス、隨テ私有財産制度ヲ否認スル目的ヲ以テ結社ヲ組織シテ、其ノ目的ノ遂行行爲トシテ、例ヘバ土地ノ全部ヲ私有ヲ許サヌトカ、或ハ財産全部ヲ奉還セヨトカト云フコトニナリマスレバ、此ノ條文ニ當ルモノト思ヒマス

○三田村委員 御氣持ハ私モ能ク分ルノデアリマス、ソレハ一ツノ理想ヲ前提トシタ時ニハ分ルノデス、例ヘバ共產主義トカ、マルクス主義トカ云フモノヲ前提トシタ場合ニハ、今御話ノ通り私有財産制度否認ノ目的トシ、其ノ過程トシ、手段トシテ土地國有論ヲ言ヒ、産業體系ノ奉還ヲ言ヒ、重要産業ノ國家管理ヲ言フト云フ一ツノ段階ヲ經テ來マスカラ、ソレハ玆ニアル私有財産制度ノ否認ニ該當シマスガ、其ノ一ツノ理想ヲ持タナイモノデスヨ、此ノ第十條ニ書イタ法律用語ヲ真正面ニ解釋シテ、土地國有論其ノモノガ私有財産制度否認ニナルカ、又重要産業ノ國家管理、詰リ産業體系ヲ一切國家ニ奉還シト云フ其ノ主張ガ、法律的ニ解釋シテ私有財産制度否認ニナルカト云フコトヲ、ハツキリシテ置キタイト思フ、詰リ現在ノ經濟組織ノ根柢ヲ成ス私有財産制度、所謂所有權ノ根本ヲ全クノ否認スル目的ヲ持ツテ居ル、是ハ一ノ理想デス、今日代表スベキモノハ共產主義デス、ソレヲ以テヤツテ居ル時ニハ、言フマデモ

ナク之ニ該當シマスガ、此ノ法律ノ解釋論トシテサウデナイ場合、其ノ根柢ニサウ云フ思想ハ持つテ居ラスガ、兎ニ角今日ノ經濟機構ヲ變ヘナケレバナラス、所有權ニ重大ナ制限ヲ加ヘルカモ分ラヌガ、土地國有ニスベシ、産業、財産權一切國有ニスベシ、重要産業一切國有ニスベシ、個人ノ所有ヲ一切禁止スルト云フコトガ、一ツノ目的トナツテ、結社ヲ組織サレテ、運動ガ展開サレル場合ハ、私ハ解釋論トシテハ、此ノ十條ニ該當スルト思フノデアリマス、ソコデ私ハ變ナ質問ヲスルヤウデアリマスガ、第十條ノ場合ハ立法ノ沿革ニ徴シテ、今刑事局長ノ御答辯ニナリマシタ如ク、一ツノ思想ヲ持チ、其ノ思想ノ實現ノ手段トシテ、或ハ土地國有論ヲヤリ、或ハ重要産業ノ國家管理ヲ言ヒ、生産機關ノ國有ヲ主張スル者ハ、ココノ所謂私有財産制度ノ否認ニナルガ、部分的ニ土地國有ヲ唱ヘル者ハ、之ヲ該當シナイノダト云フ解釋ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、如何デスカ

○秋山政府委員 唯單純ニ土地國有論ヲ主張スルヤウナ場合ニハ、此ノ條文ニハ當嵌マラスト思ヒマス、此ノ第十條ハ一私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテト云フコトガ謳ツテアリマスカラ、ドウシテモサウ云フ目的ヲ以テ、土地國有論ヲ主張スルト云フコトニナラナケレバ、本條ニ該當シナイト考ヘルノデアリマス

○三田村委員 非常ニ諄イヤウデスガ、其ノ目的ハ分ツテ居ル、私ノ申上ゲルコトハ私有財産制度否認ト云フ、其ノ目的自體ガ問題ニナツテ居ル、詰リ土地國有論モ、生産機關奉還論モ、私有財産制度否認ノ内容ヲナスノデハナイカト云フコトニナル、私

ガ今申上ゲタ、所謂私有財産制度否認ト云フ用語ハ、立法ノ沿革ニ徴シテ、唯部分的ナサウ云フ問題ヲ言フノデハナイ、法律上ノ解釋論トシテハ、成程サウ云フコトニナルカモ知レマセヌガ、少クトモ一ツノ思想體系ヲ持つテ居ツテ、社會主義實現ノ手段トシテ、其ノ過程トシテ土地國有ヲヤルノダ、生産機關ノ國家管理ヲヤルノダ、斯ウ云フコトニナラナイトイケナイノデ、私ハ生産機關ノ國家管理論モ、土地國有論モ私有財産制度否認ノ一部分ト思フノデアリマス、

ダカラ法律上ノ解釋論トシテ、「私有財産制度ヲ否認ヲ目的トシテ」ト云フト、私ノ今申上ゲタコトモ之ニ入ルノデスガ、今御當局ノ御説明ノ通り、此ノ十條ヲ御書キニナル時ノ氣持ハサウデナイ、一ツノ思想ヲ持チ一ツノ目標ヲ持チ、即チ共產主義實現ノ手段トシテ云々ト云フヤウニ、是ハ國體ト切離シテ書クコトガ必要デアリマセウ、今日ダカラココニ切離サレテ書カレタト思ヒマスガ、少クトモ解釋論トシテハ、今私が申上ゲタヤウナコトニナルカラ、ココデ新シク立法スル以上、當局ノ御説明トシテ、此ノ十條ノ狙ツテ居ル私有財産制度否認ト云フ用語ハ、立法ノ沿革ニ徴シ云々ト言ハナクデモ結構デアルガ、其ノ狙ツテ居ル所ノモノハ、一ツノ思想ヲ狙ツテ居ルノデ、共產主義實現ノ手段トシテ斯ウ云フコトヲヤル場合、私ノ今例ヲ申上ゲタヤウナ問題ガ玆ニ出テ來ルノデ、今刑事局長ノ御説明ノヤウニ、私有財産制度ヲ否認ヲ目的トシテ結社ヲ組織シタモノ、否認ヲ目的トシテ土地國有論、或ハ産業國有論ヲナス者ヲ言フノダト云フ御説明ダト、私ハドウモソコニハツキリシナイモノガ殘ルト思フノデアリマ

ス

○太田政府委員 先程刑事局長サンカラ御答辯申上ゲタ通りデゴザイマスガ、ソレニ付テ多少細カイ點ニ互リマスノデ、私カラ補足シテ申上ゲルコトニ致シマス、此ノ度ノ法案ニ於キマシテ、國體變革ニ關スル處罰規定ト私有財産制度否認ニ關スル處罰規定トヲ分離シマシタノハ、只今三田村サ

ンノ仰シヤツタヤウナ、左様ナ難カシイ思想上ノ區別ト云フヤウナコトデ、是ハ區別致シタノデハナイノデゴザイマス、實ハ今度ノ條文ハ非常ニ數モ殖エテ居リマスシ、ソレカラ國體變革ニ關スル點ニ付キマシテハ、或ハ政事結社、或ハ準備結社、集團等ノ規定モ設ケタノデアリマスガ、一方左様ナ規定ハ、私有財産制度否認ニ關スル方面ニハ設ケマセヌデシタノデ、之ヲ從來ノ現行法ノヤウナ形デ規定シテ置キマス、如何ニモゴタノ致シマス、左様ナ立法技術上ノ問題ダケデ、今度ハ私有財産制度ノ否認ニ關スル處罰規定ト、國體變革ニ關スル處罰規定トヲ分離シタニ過ギナイノデアリマス、併シナガラ今三田村サンノ仰シヤツタヤウナ思想上ノ問題ハ、實ハ今度法案ニ於テ之ヲ二ツニ區別シタカラ、問題ニナツタノデハナイノデアリマシテ、既ニ現行法ノ下ニ於テ其ノ問題ハアルノデアリマス、申上ゲルマデモナク、此ノ治安維持法ハ社會主義ヲ取締ル法規トシテ生レタノデアリマシテ、社會主義ノ本質ヲ法律ハ二ツノ點ニ於テ捉ヘタト存ズルノデアリマス、一ツハヤハリ國體變革思想ト云フ點ニ於テ之ヲ捉ヘ、一ツハ私有財産制度否認ノ思想ト云フ點ニ於テ捉ヘマシテ、此ノ二ツノ思想ヲ綜合シテ、ソレヲ要素トシテ、共產主

ス

ソレハ御説明ノ通りナンデス、私ノ申上ゲルノハ、其ノ一ツノ制度トシテノ私有財産制度ト云フ、此ノ法律上ノ用語ヲ、ドウ解釋スルカト云フ此ノ問題ナンデス、一ツノ社會制度、經濟制度トシテノ、今日ノ國民生活ノ基礎ヲ成ス經濟、産業體制ノ根幹ヲ成シテ居ル財産制度、即チ私有財産制度デス、其ノモノヲ否認スルト云フ、其ノ法律的概念ハドウ云フモノデアルカト云フコトヲ、私ハ申上ゲテ居ルノデス、其ノ私有財産制度否認ト云フコトガ、一ツノ思想デアルコトハ言フマデモアリマセヌ、其ノ思想實現ノ爲ニナサレル個々ノ行爲ガ之ニ該當スル、是モ言フマデモアリマセヌ、御説明ノ通りデアリマスガ、法律上ノ觀念トシテ、所謂私有財産制度ト云フモノヲ如何ニ理解スルカ、其ノ私有財産制度ノ中ニ——モウ一ツ詳シク申シマス、私有財産制度否認ト云フ法律的概念ノ中ニ、土地國有乃至ハ産業大權奉還、全産業ノ國家管理モ含ムカト云フ法律上ノ見解デス、是ハモウ歴史的ナ乃至ハ思想體系トシテノ見解デハナクテ、法律のナ見解トシテ、茲ニ所謂思想上私有財産制度否認ト云フ法律的概念ノ中ニ——其ノ法律の解釋ノ中ニ、土地國有、重要産業國家管理乃至ハ全産業機構ヲ國有ニシトロト云フヤウナ、斯ウ云フ主張ハ法律上ノ概念トシテ之ニ含ムカト云フ御尋ネナンデス、是ハ私ハ大體ハ分ツテ居ルノデスヨ、御當局ノ御考ヘモ分ツテ居ル、今後ノ法ノ適用モ分ツテ居リマスガ、立法スル者ノ立場トスレバ、斯ウ云フ言葉ガ出テ參リマス、法律ノ解釋論ニ從ツテ、一應檢討シテ置クコトガ必要ダト思フノデス、將來問題ガ非常ニ重要デアリマスカラ、私ハ繰返シテ御尋

ネスルノデアリマス

○太田政府委員 私有財産制度否認ト云フコトハ、私有財産制度ヲ根本的ニ破壊スルト云フ意味デゴザイマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、制度自體ヲ否認スルト云フコトヲ意味シテ居ルト考ヘマス

○三田村委員 モウソレデ止メマセウ、分ツテ居リマス、ケレドモ實ハハ太田サンノ氣持ノ中ニハ、モツト具體的ナモノガアルト思フノデス、寧ロ此ノ問題ハ具體的ニヤツテ置イテ貰ツタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデス、私ハモウ此ノ問題ハ是レ以上繰返シマセヌ、又他ノ同僚諸君カラモ質問ガ出ルト思フノデスガ、此ノ程度デ私ハ質疑ハ終リマス、先刻委員長ニ、最初ニ御諒解ヲ願ツテ置イタノデスガ、總論的ナ一、二ノ點ヲ留保シテアリマス、陸軍ノ政府委員ガ來ラレタ時ニ一、二點極ク簡單ナ問題ヲ内務省ノ政府委員同席ノ上デ御尋ネシタイト思ヒマスガ、ソレダケ委員長御諒解ヲ願ヒマス

○服部委員長 承知致シテ居リマスガ、マダ差支ガアツテ陸軍當局ガ出ラレマセスカラ、保留シテ置キマス

○三田村委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス
○世耕委員 議事進行ニ付テ——只今三田村君ト太田政府委員トノ間ニ、私有財産制度ノ問題ニ付テ質疑應答ガアツタヤウデアリマスガ、太田政府委員ノ御説明中ニ、二、三大キナ疑問ヲ實ハ私達ハ生ジテ來タノデス、司法省ノ此ノ立案ノ趣旨ガ、只今御説明ニナツタヤウナ意味デ御立案ニナツタノダトスルト、吾々ハモウ少シ根ヲ掘ツテ御聽キシナケレバナラス問題ガアルト思フノデス、ソレニ付テ、是ハ内務大臣並ニ司法

大臣ニ實ハ是非御出席ヲ願ヒタイノデス、長イ質問ハ私ハ申シマセヌガ、此ノ私有財産制度否認ノ問題ニ付テハ、現實ノ問題ニ大分觸レテ來テ居ル重大ナ問題ガ殘サレテ居ルノデアリマス、所ガ今司法省ノ御説明ニ依ルト、其ノ點ガ非常ニ明瞭ヲ缺イテ居リマス、恐ラク此ノ法ヲ適用スル上ニ於テ

モ問題ガ起ルダラウト思ヒマスカラ、私ハ此ノ際司法大臣並ニ内務大臣ノ御出席ヲ得テ、根本的ナ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマスノデ、此ノ點ニ對シテ、一ツ特別ノ御取計ヒヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ立ツタ序ニ申上ゲタイコトハ、其ノ質問ノ要旨ニ依リマシテハ、總理大臣ノ御出席ヲ願ヒタイト云フコトヲ先程申シマシタガ、國務極メテ多難ナ時ニ、總理大臣ノ御病氣ハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、又御同情ニモ堪ヘナイ次第デアリマスガ、既ニ數日ヲ經過シテ居ルヤウデアリマスカラ、ドウ云フ風ナ御病狀カ、近ク御出席ガ出來ルノカ、ソレトモ當分御出席ガ出來ナイノカドウカ、其ノ點ヲ一ツ委員長ヲ通ジテ明瞭ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、是ハ私バカリデナク、國民全體ガ此ノ時局ニ際シ非常ニ心配シテ居ルダラウト思ヒマス、此ノ間總理大臣ハ支那事變處理、時局處理ハ自分ノ大責任デアアル、身命ヲ賭シテ御奉公スルト言ハレテ居ツタ、私ハ其ノ心境ニ變リガナイト思フノデアリマス、戰場ニ於ケル將兵ハ或ル場合ニ於テハ敵彈ニ斃レ、或ハ病中ニモ拘リマセズ擔架ニ乗ツテ指揮シテ居ル實例ガアルデアリマセヌカ、私ハ其ノ眞劍サヲ恐ラク總理大臣トシテ御持チデアラウト思ヒマス、ダカラ此ノ國民ノ心配ヲ幾分デモ和ラゲサセル意味ニ於キ

マシテ、又審議ヲ進メル意味ニ於キマシテ、是非委員長カラ然ルベク内情ヲ調査御發表願ヒタイト思ヒマス

○服部委員長 承知致シマシタ、今日ノ所ハ尙ホ御病氣デ缺席デアリマスガ、此ノ上トモ御趣旨ニ依ツテ能ク御尋ネラシテ、然ルベク取計ヒマス

○泉委員 内務大臣其ノ他ノ大臣ノ出席ハ委員長ヨリ然ルベク政府ノ方ニ掛合ツテ貰フコトニ致シマシテ、本日ハ此ノ程度デ散會セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成「ト呼ブ者アリ」〕

○服部委員長 ソレデハ本日ハ之ヲ以テ散會致シマス、明日午前十時カラ開會致シマシテ、直チニ祕密會ヲ開キマシテ、外地ノ事情ニ關シテ伺フコトニ致シマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

午後四時四十三分散會